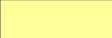





長野市歴史的風致維持向上計画の変更について

■長野市歴史的風致維持向上計画の変更箇所一覧

No.	変更内容	変更理由
1	長野市歴史的風致維持向上協議会委員の変更	人事異動等のため
2	策定経緯へ法定協議会等開催状況の追加	計画認定後の経緯等更新のため
3	指定文化財数の修正	文化財の新規指定等による
4	表示文化財数の修正	指定文化財数などの変更のため
5	表示文化財数の修正	指定文化財数などの変更のため
6	表示文化財数の修正	指定文化財数などの変更のため
7	表示文化財数の修正	指定文化財数などの変更のため
8	中社宿坊の説明追加	変更箇所を新規事業に追加したため
9	横倉旅館、宿坊神原に関する記述追加、越志旅館、武井旅館の建築年代の修正	変更箇所を新規事業に追加、調査により建築年代が判明したため
10	「伝統技術の継承に関する課題」を項目立てに修正	新規事業の追加により本文を修正したため
11	「伝統技術の継承に関する課題」を項目立てに修正	新規事業の追加により本文を修正したため
12	耐震診断と戸隠スキー場中社ゲレンデ・茅場に関する記述の追加	新規事業の追加により本文を修正したため
13	庁内組織の改正	計画認定に伴い、組織改正されたため
14	表示文化財数の修正	指定文化財数などの変更のため
15	文化財に関する職員数の変更	組織の現況に合わせるため
16	「戸隠地区」に関する修正、事業の追加	新規事業を追加したため
17	文化財に関する新規事業の追加	新規事業を追加したため
18	事業期間の変更 (MK12 松代城跡東側駐車場整備事業)	事業年度の見直し
19	事業期間の変更 (ZT9 戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業)	事業年度の見直し
20	事業期間の変更 (MK10 耐震性貯水槽整備事業)	事業年度の見直し
21	文化財活用の住民団体に「川田宿ガイドの会」を追加	新規活動として追加したため
22	文化財活用の住民団体に「鬼無里地域歴史的風致維持向上協議会」を追加	新規活動として追加したため
23	事業総括図(善光寺・戸隠地区)に新規事業を追加	新規事業を追加したため
24	事業総括図(松代・若穂川田地区)に新規事業を追加	新規事業を追加したため
25	事業総括図(鬼無里地区)に新規事業を追加	新規事業を追加したため
26	新規事業の追加 (N2 歴史的資源活用コーディネーター派遣事業)	新規事業を追加したため
27	事業期間の変更 (ZT4 中央通り歩行者優先道路化事業)	事業年度の見直し
28	事業期間の変更 (ZT8 戸隠地域建物修景助成事業)	事業年度の見直し
29	事業期間の変更 (ZT9 戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業)	事業年度の見直し
30	事業期間の変更 (ZT10 景観重要建造物修理助成事業 戸隠地域)	事業年度の見直し

No.	変更内容	変更理由
31	事業名の変更 (N2→ZT11 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業)	事業名・事業箇所の変更
32	新規事業の追加 (ZT12 善光寺本堂耐震補強事業)	新規事業を追加したため
33	新規事業の追加 (ZT13 戸隠地区伝統的建造物群保存対策事業)	新規事業を追加したため
34	新規事業の追加 (ZT14 戸隠茅場整備事業)	新規事業を追加したため
35	新規事業の追加 (ZT15 歴史的風致形成建造物整備事業)	新規事業を追加したため
36	事業期間の変更 (MK3 小鮎川改修事業)	事業年度の見直し
37	事業期間・支援事業名の変更 (MK10 耐震性貯水槽整備事業)	事業年度・支援事業の見直し
38	事業期間の変更 (MK11 旧松代駅舎保存活用事業)	事業年度の見直し
39	事業期間の変更 (MK12 松代城跡東側駐車場整備事業)	事業年度の見直し
40	事業期間の変更 (MK13 北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業)	事業年度の見直し
41	新規事業の追加 (MK19 県宝大英寺本堂保存修理事業)	新規事業を追加したため
42	新規事業の追加 (MK20 川田宿PR活用事業)	新規事業を追加したため
43	歴史的風致形成建造物の新規指定 (5件)	歴史的風致形成建造物の指定
44	歴史的風致形成建造物の候補の変更 (大英寺本堂の削除)	歴史的風致形成建造物に指定されたため
45	資料編「国・県・市指定文化財一覧」の修正 (国指定等文化財)	新規指定2件の追加
46	資料編「国・県・市指定文化財一覧」の修正 (県指定文化財)	重要文化財への指定変更のため
47	資料編「国・県・市指定文化財一覧」の修正 (市指定等文化財・天然記念物)	指定数変更のため (1件削除)
48	資料編「国・県・市指定文化財一覧」の修正 (国登録有形文化財建物)	新規指定による(10件)
49		
50		

凡例	
軽微な変更・修正……	
説明の追加・修正……	
新規事業の追加……	
事業期間等の変更……	

■新旧対照表 (No.1)

新 (7ページ)

〈長野市歴史的風致維持向上協議会〉

歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議並びに認定された計画の実施にかかる連絡調整のため、歴史まちづくり法第11条の規定に基づき設置したものである。

平成25年11月21日現在 (敬称略)

選出区分	分野	氏名	所属団体等
学識経験者 団体等	建築	赤羽 吉人	長野市景観審議会 副会長 (社)日本建築家協会長野地域会 会長
	日本史学	牛山 佳幸	長野市地方文化財保護審議会 職務代理者 信州大学教育学部 教授
	商工	◎北村 正博	長野市景観審議会 会長 長野市商工団体連絡協議会 会長
	歴史	小林 玲子	長野郷土史研究会 副会長 絵解き口演家
	埋蔵文化財 史跡	○笹澤 浩	長野市地方文化財保護審議会 会長 元長野県埋蔵文化財センター調査部長
	建築史	土本 俊和	長野市地方文化財保護審議会 委員 信州大学工学部 教授
	歴史	宮下 健司	安茂里公民館 館長 元長野県立歴史館 総合情報課長
地域	善光寺	若麻績千冬	善光寺周辺地域まちづくり協議会 会長
	松代	中島嘉一郎	松代地区住民自治協議会 会長
	鬼無里	中村 公夫	鬼無里地区住民自治協議会 前事務局長
	戸隠	極意 憲雄	戸隠中社区 前区長
行政	長野県	小野 光尚	長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 課長
		唐沢 栄一	長野県長野地方事務所建築課 課長
	長野市	根津 恵二	長野市都市整備部 部長
		藤沢 孝司	長野市教育委員会 教育次長

◎会長 ○職務代理者 任期：平成26年3月31日まで

旧 (7ページ)

〈長野市歴史的風致維持向上協議会〉

歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議並びに認定された計画の実施にかかる連絡調整のため、歴史まちづくり法第11条の規定に基づき設置したものである。

平成24年8月29日設立 (敬称略)

選出区分	分野	氏名	所属団体等
学識経験者 団体等	建築	赤羽 吉人	長野市景観審議会 副会長 (社)日本建築家協会長野地域会 会長
	日本史学	牛山 佳幸	長野市地方文化財保護審議会 職務代理者 信州大学教育学部 教授
	商工	◎加藤 久雄	長野市景観審議会 会長 長野市商工団体連絡協議会 会長
	歴史	小林 玲子	長野郷土史研究会 副会長 絵解き口演家
	埋蔵文化財 史跡	○笹澤 浩	長野市地方文化財保護審議会 会長 元長野県埋蔵文化財センター調査部長
	建築史	土本 俊和	長野市地方文化財保護審議会 委員 信州大学工学部 教授
	歴史	宮下 健司	安茂里公民館 館長 元長野県立歴史館 総合情報課長
地域	善光寺	若麻績千冬	善光寺周辺地域まちづくり協議会 会長
	松代	中島嘉一郎	松代地区住民自治協議会 会長
	鬼無里	中村 公夫	鬼無里地区住民自治協議会 事務局長
	戸隠	極意 憲雄	戸隠中社区 前区長
行政	長野県	阿部 精一	長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 課長
		伊藤 勇	長野県長野地方事務所建築課 課長
	長野市	原田 広己	長野市都市整備部 部長
		三井 和雄	長野市教育委員会 教育次長

◎会長 ○職務代理者 任期：平成26年3月31日まで

■新旧対照表 (No.2)

新 (8ページ)		旧 (8ページ)	
4 計画策定の経緯		4 計画策定の経緯	
平成24年		平成24年	
7月2日	部長会議 (計画策定を目指すことを了承)	7月2日	部長会議 (計画策定を目指すことを了承)
7月31日	長野市景観審議会	7月31日	長野市景観審議会
8月27日	第1回歴史的風致維持向上計画策定会議 (庁内会議)	8月27日	第1回歴史的風致維持向上計画策定会議 (庁内会議)
8月29日	第1回長野市歴史的風致維持向上協議会	8月29日	第1回長野市歴史的風致維持向上協議会
11月9日	第2回歴史的風致維持向上計画策定会議 (庁内会議)	11月9日	第2回歴史的風致維持向上計画策定会議 (庁内会議)
11月14日	第2回長野市歴史的風致維持向上協議会 長野市景観審議会	11月14日	第2回長野市歴史的風致維持向上協議会 長野市景観審議会
12月～	重点区域に関する地元説明会 (4回開催)	12月～	重点区域に関する地元説明会 (4回開催)
平成25年		平成25年	
～1月	重点区域に関する地元説明会 (3回開催)	～1月	重点区域に関する地元説明会 (3回開催)
1月25日	第3回歴史的風致維持向上計画策定会議 (庁内会議)	1月25日	第3回歴史的風致維持向上計画策定会議 (庁内会議)
2月1日	部長会議 (素案決定)	2月1日	部長会議 (素案決定)
2月6日	長野市教育委員会定例会	2月6日	長野市教育委員会定例会
2月6日～2月20日	パブリックコメント	2月6日～2月20日	パブリックコメント
2月13日	第3回長野市歴史的風致維持向上協議会 長野市景観審議会	2月13日	第3回長野市歴史的風致維持向上協議会 長野市景観審議会
2月14日	長野市地方文化財保護審議会	2月14日	長野市地方文化財保護審議会
2月26日	部長会議 (計画決定)	2月26日	部長会議 (計画決定)
3月7日	計画の認定申請	3月7日	計画の認定申請
4月11日	計画の認定		
10月28日	第1回歴史まちづくり推進会議 (庁内会議)		
11月21日	第4回長野市歴史的風致維持向上協議会		
平成26年			
1月16日	第2回歴史まちづくり推進会議 (庁内会議)		
1月～2月中	計画変更に関する地区説明会 (重点区域内)		
2月4日	長野市地方文化財保護審議会		
2月18日	第5回長野市歴史的風致維持向上協議会 (現地視察)		
2月21日	長野市景観審議会		
2月25日	第6回長野市歴史的風致維持向上協議会		
3月 日	計画の変更認定申請		

■新旧対照表 (No.3)

新 (44ページ)

4 長野市の文化財

長野盆地や周辺の山地、千曲川や犀川が形づくった歴史の舞台に国宝の善光寺本堂をはじめとする 510 件の文化財が存在している。平成 26 年 (2014) 3 月現在、本市には国指定等の文化財が 158 件、そのうち国宝・重要文化財が 31 件含まれる。長野県指定の文化財は 51 件ある。市指定の文化財は 293 件あり、指定のほかに、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財が 7 件、文化財を支える技術 (選定保存技術) が 1 件あり、合わせて 301 件の市の文化財がある。

平成 26 年 (2014) 3 月現在

指 定	指 定 区 分	件数	内 訳
国指定等 158	国 宝	1	建造物 1
	重要文化財	31	絵画 2、彫刻 15、工芸品 4、書跡 2、歴史資料 1、建造物 7
	記 念 物	7	史跡 6、天然記念物 1
	無形民俗文化財	1	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 1
	重要美術品	6	絵画 2、工芸品 2、彫刻 1、書跡 1
	登録有形文化財	108	建造物 108
	登録記念物	4	記念物 4
県指定 51	県 宝	27	彫刻 5、絵画 1、工芸品 7、建造物 11、考古資料 1、書跡 2
	無形民俗文化財	2	無形民俗文化財 2
	記 念 物	22	史跡 5、名勝 1、天然記念物 16
市指定等 301	有形文化財	142	書跡 2、文書 10、彫刻 30、絵画 9、工芸品 15、考古資料 12、歴史資料 3、建造物 61
	無形文化財	7	無形文化財 7
	有形民俗文化財	14	有形民俗文化財 14
	無形民俗文化財	11	無形民俗文化財 11
	記 念 物	119	史跡 46、名勝 3、天然記念物 69、名勝・天然記念物 1
	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	7	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 7
	選定保存技術	1	保存技術 1
合計		510	

国・県・市指定等の文化財件数一覧

旧 (45ページ)

4 長野市の文化財

長野盆地や周辺の山地、千曲川や犀川が形づくった歴史の舞台に国宝の善光寺本堂をはじめとする 500 件の文化財が存在している。平成 25 年 (2013) 2 月現在、本市には国指定等の文化財が 146 件、そのうち国宝・重要文化財が 30 件含まれる。長野県指定の文化財は 52 件ある。市指定の文化財は 294 件あり、指定のほかに、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財が 7 件、文化財を支える技術 (選定保存技術) が 1 件あり、合わせて 302 件の市の文化財がある。

平成 25 年 (2013) 2 月現在

指 定	指 定 区 分	件数	内 訳
国指定等 146	国 宝	1	建造物 1
	重要文化財	29	絵画 1、彫刻 15、工芸品 3、書跡 2、歴史資料 1、建造物 7
	記 念 物	7	史跡 6、天然記念物 1
	無形民俗文化財	1	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 1
	重要美術品	6	絵画 2、工芸品 2、彫刻 1、書跡 1
	登録有形文化財	98	建造物 98
	登録記念物	4	記念物 4
県指定 52	県 宝	28	彫刻 5、絵画 2、工芸品 7、建造物 11、考古資料 1、書跡 2
	無形民俗文化財	2	無形民俗文化財 2
	記 念 物	22	史跡 5、名勝 1、天然記念物 16
市指定等 302	有形文化財	142	書跡 2、文書 10、彫刻 30、絵画 9、工芸品 15、考古資料 12、歴史資料 3、建造物 61
	無形文化財	7	無形文化財 7
	有形民俗文化財	14	有形民俗文化財 14
	無形民俗文化財	11	無形民俗文化財 11
	記 念 物	120	史跡 46、名勝 3、天然記念物 70、名勝・天然記念物 1
	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	7	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 7
	選定保存技術	1	保存技術 1
合計		500	

国・県・市指定等の文化財件数一覧

■新旧対照表 (No.4)

新 (45ページ)

(1) 国指定等の文化財

本市における国指定有形文化財の建造物は、国宝では善光寺本堂1件、重要文化財では、善光寺境内に2件(三門、経蔵)と松代地区に3件(松代藩ゆかりの真田信重霊屋と真田信之霊屋の2件、松代藩中級武家屋敷である旧横田家住宅1件)、そのほかの地域で神社本殿が2件(葛山落合神社、白髯神社)あり、室町時代、安土桃山時代、江戸時代の築年になるものがある。

重要文化財のうち美術工芸品は、白鳳時代の小金銅仏(銅造観音菩薩立像)が時代的に最も古い文化財であり、次いで奈良時代から平安時代初期に比定される牙笏(戸隠神社)、平安時代の鉄鍬形(若穂保科の清水寺)がある。また、他県からの客仏であるが平安時代の木造仏(若穂保科の清水寺の木造観音菩薩立像ほか7軀)、松代町西条の清水寺に木造千手観音菩薩立像ほか2軀がある。

記念物のうち史跡は、古墳時代の前期古墳1件(川柳将軍塚・姫塚古墳)、中期古墳1件(埴科古墳群)、中期から後期古墳で積石塚を特徴とする大室古墳群(166基)がある。松代地区では、松代藩ゆかりの松代城跡附新御殿跡、旧文武学校、松代藩主真田家墓所がある。

天然記念物は、長野市北部の山間地にある素桜神社の神代ザクラが1件ある。

登録有形文化財(建造物)108件は、江戸時代後期から明治時代の建築物が大部分で、大正時代から昭和時代初期のものを少数含む。善光寺周辺地区では18件(旅館・商店の店舗等)、松代地区では69件(寺社、店舗、個人住宅等)あり、この両地区に集中する。登録記念物(名勝地関係)は、松代藩武家屋敷地と神社の庭園4件がある。



善光寺本堂 (元善町)



旧横田家住宅主屋 (松代町)



銅造観音菩薩立像 (若槻吉字山千寺)



木造千手観音菩薩立像 (清水寺)

旧 (46ページ)

(1) 国指定等の文化財

本市における国指定有形文化財の建造物は、国宝では善光寺本堂1件、重要文化財では、善光寺境内に2件(三門、経蔵)と松代地区に3件(松代藩ゆかりの真田信重霊屋と真田信之霊屋の2件、松代藩中級武家屋敷である旧横田家住宅1件)、そのほかの地域で神社本殿が2件(葛山落合神社、白髯神社)あり、室町時代、安土桃山時代、江戸時代の築年になるものがある。

重要文化財のうち美術工芸品は、白鳳時代の小金銅仏(銅造観音菩薩立像)が時代的に最も古い文化財であり、次いで奈良時代から平安時代初期に比定される牙笏(戸隠神社)、平安時代の鉄鍬形(若穂保科の清水寺)がある。また、他県からの客仏であるが平安時代の木造仏(若穂保科の清水寺の木造観音菩薩立像ほか7軀)、松代町西条の清水寺に木造千手観音菩薩立像ほか2軀がある。

記念物のうち史跡は、古墳時代の前期古墳1件(川柳将軍塚・姫塚古墳)、中期古墳1件(埴科古墳群)、中期から後期古墳で積石塚を特徴とする大室古墳群(166基)がある。松代地区では、松代藩ゆかりの松代城跡附新御殿跡、旧文武学校、松代藩主真田家墓所がある。

天然記念物は、長野市北部の山間地にある素桜神社の神代ザクラが1件ある。

登録有形文化財(建造物)98件は、江戸時代後期から明治時代の建築物が大部分で、大正時代から昭和時代初期のものを少数含む。善光寺周辺地区では18件(旅館・商店の店舗等)、松代地区では59件(寺社、店舗、個人住宅等)あり、この両地区に集中する。登録記念物(名勝地関係)は、松代藩武家屋敷地と神社の庭園4件がある。



善光寺本堂 (元善町)



旧横田家住宅主屋 (松代町)



銅造観音菩薩立像 (若槻吉字山千寺)



木造千手観音菩薩立像 (清水寺)

■新旧対照表 (No.5)

新 (46ページ)

民俗文化財は、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財1件(高岡の小豆焼き行事)が選択されている。このほか、絵画・工芸品・彫刻・書跡あわせて6件の重要美術品がある。

(2) 県指定の文化財

市内には51件の県指定文化財があり、有形文化財の建造物は、室町時代後期の葛山落合神社境内諏訪社殿を最古とし、戦国時代から明治時代後期までの寺社の本堂・本殿・経蔵・表門、武家住宅、師範学校教師館、宣教師住宅など11件があり、松代地区に7件が集中する。松代町の熊野出速雄神社本殿は、中世の熊野系の修験を伝える建築遺構である。



熊野出速雄神社本殿 (松代町)

絵画は、善光寺大勧進と大本願に鎌倉時代後半から室町時代初期の極楽往生を願う善光寺信仰に関わる掛幅画1点(絹本着色釈迦三尊像)がある。



芦ノ尻道祖神祭り (大岡)

彫刻は、平安時代中期から鎌倉時代後期の木造の仏像7軀(木造聖観音立像、木造金剛力士立像など)が市内に点在している。

工芸品の玉依比売命神社児玉石(591個 松代町)は、正月の予祝行事である児玉石の玉改め神事に用いるもので、毎年玉の数が増減する。

民俗文化財は、長野盆地平坦地の巨大なわら人形と男根をつくるドンドヤキ(長谷及び越のドンドヤキ)、山間地では石碑の上に注連縄で神面を形づくる道祖神祭り(芦ノ尻道祖神祭り)が無形民俗文化財になっており、独特な民俗文化の一端を伝承している。

記念物のうち史跡は、合掌形石室を有する古墳が松代地区に2基(菅間王塚古墳、桑根井空塚)ある。菅間王塚古墳は、積石塚としては県内最大規模の古墳であり、史跡大室古墳群とともに市域の積石塚、合掌形石室墳の地域性を良く現している。

山岳信仰を母胎とする修験の霊場として知られる戸隠神社奥社・中社・宝光社(顕光寺奥院・中院・宝光院)は、戸隠神社信仰遺跡として史跡となっている。信州新町の牧ノ島城跡は、武田信玄が馬場信房に築かせた武田流の平山城で、戦国時代の縄張りをよく残している。

これらの長野市域の県史跡は、古墳時代、平安時代から江戸時代、戦国時代の各時代の歴史を語る上でポイントとなるものである。

旧 (47ページ)

民俗文化財は、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財1件(高岡の小豆焼き行事)が選択されている。このほか、絵画・工芸品・彫刻・書跡あわせて6件の重要美術品がある。

(2) 県指定の文化財

市内には52件の県指定文化財があり、有形文化財の建造物は、室町時代後期の葛山落合神社境内諏訪社殿を最古とし、戦国時代から明治時代後期までの寺社の本堂・本殿・経蔵・表門、武家住宅、師範学校教師館、宣教師住宅など11件があり、松代地区に7件が集中する。松代町の熊野出速雄神社本殿は、中世の熊野系の修験を伝える建築遺構である。



熊野出速雄神社本殿 (松代町)

絵画は、善光寺大勧進と大本願に鎌倉時代後半から室町時代初期の極楽往生を願う善光寺信仰に関わる掛幅画2点(絹本着色釈迦三尊像、絹本着色阿弥陀聖衆来迎図)がある。



芦ノ尻道祖神祭り (大岡)

彫刻は、平安時代中期から鎌倉時代後期の木造の仏像5軀(木造聖観音立像、木造金剛力士立像など)が市内に点在している。

工芸品の玉依比売命神社児玉石(591個 松代町)は、正月の予祝行事である児玉石の玉改め神事に用いるもので、毎年玉の数が増減する。

民俗文化財は、長野盆地平坦地の巨大なわら人形と男根をつくるドンドヤキ(長谷及び越のドンドヤキ)、山間地では石碑の上に注連縄で神面を形づくる道祖神祭り(芦ノ尻道祖神祭り)が無形民俗文化財になっており、独特な民俗文化の一端を伝承している。

記念物のうち史跡は、合掌形石室を有する古墳が松代地区に2基(菅間王塚古墳、桑根井空塚)ある。菅間王塚古墳は、積石塚としては県内最大規模の古墳であり、史跡大室古墳群とともに市域の積石塚、合掌形石室墳の地域性を良く現している。

山岳信仰を母胎とする修験の霊場として知られる戸隠神社奥社・中社・宝光社(顕光寺奥院・中院・宝光院)は、戸隠神社信仰遺跡として史跡となっている。信州新町の牧ノ島城跡は、武田信玄が馬場信房に築かせた武田流の平山城で、戦国時代の縄張りをよく残している。

これらの長野市域の県史跡は、古墳時代、平安時代から江戸時代、戦国時代の各時代の歴史を語る上でポイントとなるものである。

■新旧対照表 (No.6)

新 (47ページ)

天然記念物は、樹木（戸隠神社奥社社叢、真島のクワ、戸隠豊岡のカツラなど）のほか、市域の大地の形成を物語るシンシュウゾウ（戸隠川下）、クジラ（信州新町山穂刈）やセイウチ（信州新町越道、中条日高）などの化石類や地質標本（若穂綿内の大柳及び井上の枕状溶岩、鬼無里深谷沢の蜂の巣状風化岩）がある。

(3) 市指定等の文化財

市内には、301件の市指定等の文化財があり、このうち有形文化財が142件、記念物が119件あり、これらで大半を占めている。

有形文化財は、建造物が61件で平安時代の石造多層塔を最古とし、鎌倉時代から室町時代の石幢（松代町東条）、石造宝篋印塔（元善町、七二会、若穂川田）、源閼神社本殿（松代町豊栄）、諏訪神社本殿（浅川西条）等の7件、そのほかは江戸時代の神社本殿（守田廻神社本殿、北郷朝川原神社など）、武家住宅の表門（矢沢家の表門、旧白井家の表門）、鐘楼（旧松代藩鐘楼など）、武家住宅（旧樋口家住宅）、町家（旧金箱家住宅）、高札場（有旅の高札場）、霊屋（大録寺真田信之霊屋）等の37件、明治時代の学校（旧作新学校本館）、神社本殿（荒倉山神社本殿、金刀比羅神社本殿など）等の13件がある。



石造多層塔（篠ノ井）



戸隠神社奥社社叢（戸隠）



木造伐折羅大将像（大本願）



川柳將軍塚古墳埴輪円筒棺（篠ノ井）

彫刻は、平安時代の仏像（木造阿彌陀如来立像、木造毘沙門天像など）が6軀、鎌倉時代の仏像（木造聖徳太子立像、木造伐折羅大将像など）9軀、室町時代の仏像（石造地藏菩薩坐像、木造釈迦如来像など）が5軀、戦国時代から江戸時代の仏像（木造大日如来坐像、木造地藏菩薩半跏像など）9軀、江戸時代の石造と木造の百体観音像（観ノ山、常源寺）などが市内全域に分布している。

考古資料は、川柳將軍塚古墳出土の埴輪円筒棺など12件がある。

旧 (48ページ)

天然記念物は、樹木（戸隠神社奥社社叢、真島のクワ、戸隠豊岡のカツラなど）のほか、市域の大地の形成を物語るシンシュウゾウ（戸隠川下）、クジラ（信州新町山穂刈）やセイウチ（信州新町越道、中条日高）などの化石類や地質標本（若穂綿内の大柳及び井上の枕状溶岩、鬼無里深谷沢の蜂の巣状風化岩）がある。

(3) 市指定等の文化財

市内には、302件の市指定等の文化財があり、このうち有形文化財が142件、記念物が120件あり、これらで大半を占めている。

有形文化財は、建造物が61件で平安時代の石造多層塔を最古とし、鎌倉時代から室町時代の石幢（松代町東条）、石造宝篋印塔（元善町、七二会、若穂川田）、源閼神社本殿（松代町豊栄）、諏訪神社本殿（浅川西条）等の7件、そのほかは江戸時代の神社本殿（守田廻神社本殿、北郷朝川原神社など）、武家住宅の表門（矢沢家の表門、旧白井家の表門）、鐘楼（旧松代藩鐘楼など）、武家住宅（旧樋口家住宅）、町家（旧金箱家住宅）、高札場（有旅の高札場）、霊屋（大録寺真田信之霊屋）等の37件、明治時代の学校（旧作新学校本館）、神社本殿（荒倉山神社本殿、金刀比羅神社本殿など）等の13件がある。



石造多層塔（篠ノ井）



戸隠神社奥社社叢（戸隠）



木造伐折羅大将像（大本願）



川柳將軍塚古墳埴輪円筒棺（篠ノ井）

彫刻は、平安時代の仏像（木造阿彌陀如来立像、木造毘沙門天像など）が6軀、鎌倉時代の仏像（木造聖徳太子立像、木造伐折羅大将像など）9軀、室町時代の仏像（石造地藏菩薩坐像、木造釈迦如来像など）が5軀、戦国時代から江戸時代の仏像（木造大日如来坐像、木造地藏菩薩半跏像など）9軀、江戸時代の石造と木造の百体観音像（観ノ山、常源寺）などが市内全域に分布している。

考古資料は、川柳將軍塚古墳出土の埴輪円筒棺など12件がある。

■新旧対照表 (No.7)

新 (48ページ)

工芸品は、鬼無里地区に江戸時代から明治時代初期の神楽(白髯神社、加茂神社)や山車(鬼無里神社、皇大神社など)6件、元善町に仏具など(五結鈴、木造百万塔など)4件、木造百万塔3件(西光寺ほか)、漆地彩色装神輿(玉依比売命神社)など2件がある。



西町上区の山車



文禄4年(1595)中氷鉦村下水鉦村御検地帳(稲里町)

文書は、戦乱による村の荒廃を物語る「失人」の記載が見られる「文禄4年中氷鉦村下水鉦村御検地帳」(1595)など10件がある。

無形文化財は、修験道に関する宣澄踊り(戸隠)、松代城大門前で踊る盆踊りの一種である大門踊り(松代町)など7件がある。有形民俗文化財は、西町上区の山車、松代藩の御用窯として江戸時代に栄えた松代焼コレクション、庚申講人別帳及び用具(中越、妻科)、門灯籠と舞台(小島区)など14件がある。無形民俗文化財は、太神楽や獅子舞(犀川神社太神楽、赤野田神社太神楽など)、雨乞い祈願の三十三燈籠(篠ノ井塩崎)、悪霊をしずめて村の外へ送り出す犬石の虫送り行事(篠ノ井有旅)、予祝行事である玉依比売命神社の御田祭・児玉石神事・御判神事(松代町東条)など11件がある。



犀川神社太神楽(安茂里)



竹原笹塚古墳(松代町)



カワシンジュガイ(戸隠)

記念物は、史跡が46件で遺跡(宮遺跡、宮平遺跡など)、古墳(中郷神社前方後円墳、竹原笹塚古墳など)、城跡(葛山城跡、横田城跡など)、寺跡(神護寺跡)、善光寺参道(敷石)などがある。天然記念物は、カワシンジュガイ(戸隠)、葛山落合神社社叢(入山)、荒古のサクラ(豊野町)などの樹木、ハチノス状風化岩(鬼無里日影)、奥裾花のケスタ地形(鬼無里日影)などの地質関係など69件がある。名勝と天然記念物を包括したものに榑知大神社の境内の社叢及び湿生植物群落がある。そのほか桐原牧神社の藁馬づくりが保存技術(選定)となっている。

旧 (49ページ)

工芸品は、鬼無里地区に江戸時代から明治時代初期の神楽(白髯神社、加茂神社)や山車(鬼無里神社、皇大神社など)6件、元善町に仏具など(五結鈴、木造百万塔など)4件、木造百万塔3件(西光寺ほか)、漆地彩色装神輿(玉依比売命神社)など2件がある。



西町上区の山車



文禄4年(1595)中氷鉦村下水鉦村御検地帳(稲里町)

文書は、戦乱による村の荒廃を物語る「失人」の記載が見られる「文禄4年中氷鉦村下水鉦村御検地帳」(1595)など10件がある。

無形文化財は、修験道に関する宣澄踊り(戸隠)、松代城大門前で踊る盆踊りの一種である大門踊り(松代町)など7件がある。有形民俗文化財は、西町上区の山車、松代藩の御用窯として江戸時代に栄えた松代焼コレクション、庚申講人別帳及び用具(中越、妻科)、門灯籠と舞台(小島区)など14件がある。無形民俗文化財は、太神楽や獅子舞(犀川神社太神楽、赤野田神社太神楽など)、雨乞い祈願の三十三燈籠(篠ノ井塩崎)、悪霊をしずめて村の外へ送り出す犬石の虫送り行事(篠ノ井有旅)、予祝行事である玉依比売命神社の御田祭・児玉石神事・御判神事(松代町東条)など11件がある。



犀川神社太神楽(安茂里)



竹原笹塚古墳(松代町)



カワシンジュガイ(戸隠)

記念物は、史跡が46件で遺跡(宮遺跡、宮平遺跡など)、古墳(中郷神社前方後円墳、竹原笹塚古墳など)、城跡(葛山城跡、横田城跡など)、寺跡(神護寺跡)、善光寺参道(敷石)などがある。天然記念物は、カワシンジュガイ(戸隠)、葛山落合神社社叢(入山)、荒古のサクラ(豊野町)などの樹木、ハチノス状風化岩(鬼無里日影)、奥裾花のケスタ地形(鬼無里日影)などの地質関係など70件がある。名勝と天然記念物を包括したものに榑知大神社の境内の社叢及び湿生植物群落がある。そのほか桐原牧神社の藁馬づくりが保存技術(選定)となっている。

■新旧対照表 (No.8)

新 (98ページ)

昭和11年(1936)の雪崩による崩壊後、昭和12年(1937)に建て替えられたもので、正面に拝殿が建ち、拝殿の背後からL字形にのびる回廊が岩屋ノ間へと続いている。拝殿は、木造平屋建、間口3間、奥行3間、妻入、入母屋造鉄板葺屋根で、正面に一間の向拝を付ける。



火之御子社 (明治17年(1884))

火之御子社は、中社集落の入口にあり、『戸隠山顕光寺流記』によれば、創建は承徳2年(1098)と伝える。社名は、祭神・天鈿女命(天照大神の御孫)のまたの名を「火之戸幡姫」と称したことに由来する。奥社・中社・宝光社の三社は、江戸時代まで、それぞれ、奥院・中院・宝光院の三院であったが、この社殿のみ、草創時より神仏混淆の時代にあっても純然たる神社であった。舞楽芸能の神、火防の神として信仰が篤い。現在の社殿は、明治17年(1884)の建築で、木造平屋建、間口3間、奥行4間、妻入、入母屋造鉄板葺屋根である。



五斎神社拝殿 (江戸時代前期)

五斎神社は、中社区の神社で、拝殿の北側の石壇を登って本社があり、その東に宣澄社がある。このうち拝殿は、木造平屋建、間口2間半、妻入、入母屋造茅葺屋根の建物で、江戸時代前期の建築である。



旧徳善院本堂 (極意家神殿)
(登録有形文化財：文化9年(1812)頃)

中社門前には、中社社殿に向かって南北に延びる大門通り沿いに、神仏混淆の時代から続く宿坊が建ち並んでいる。その多くは、明治時代以降に建てられたものであるが、中には江戸時代中期に遡るものも数棟ある。豪雪地帯特有の太い部材を用いて、茅葺の大屋根を持つどっしりとした構えを特徴とする。屋根形式は、寄棟造のものが多いが、中にはL字形に曲げられたものや凹字形を呈するものもある。

中社境内に最も近い位置にある旧徳善院本堂(極意家神殿)及び旧徳善院庫裏(極意家宿坊)は、文化8年(1811)焼失後の文化9年(1812)頃に再建されたものである。旧徳善院本堂(極意家神殿)は、木造平屋建、間口6間、奥行5間、平入、寄棟造茅葺、前面に唐破風を有した向拝が付く。他方、旧庫裏(宿坊)は、神殿と直角に配置され、木造2階建、間口11間、奥行7間半、入母屋造茅葺屋根の建物である。

また、極意家の前を東西に延びている道は、横大門通りと呼ばれ、極意家、成瀬旅館、

旧 (98ページ)

昭和11年(1936)の雪崩による崩壊後、昭和12年(1937)に建て替えられたもので、正面に拝殿が建ち、拝殿の背後からL字形にのびる回廊が岩屋ノ間へと続いている。拝殿は、木造平屋建、間口3間、奥行3間、妻入、入母屋造鉄板葺屋根で、正面に一間の向拝を付ける。



火之御子社 (明治17年(1884))

火之御子社は、中社集落の入口にあり、『戸隠山顕光寺流記』によれば、創建は承徳2年(1098)と伝える。社名は、祭神・天鈿女命(天照大神の御孫)のまたの名を「火之戸幡姫」と称したことに由来する。奥社・中社・宝光社の三社は、江戸時代まで、それぞれ、奥院・中院・宝光院の三院であったが、この社殿のみ、草創時より神仏混淆の時代にあっても純然たる神社であった。舞楽芸能の神、火防の神として信仰が篤い。現在の社殿は、明治17年(1884)の建築で、木造平屋建、間口3間、奥行4間、妻入、入母屋造鉄板葺屋根である。



五斎神社拝殿 (江戸時代前期)

五斎神社は、中社区の神社で、拝殿の北側の石壇を登って本社があり、その東に宣澄社がある。このうち拝殿は、木造平屋建、間口2間半、妻入、入母屋造茅葺屋根の建物で、江戸時代前期の建築である。



旧徳善院本堂 (極意家神殿)
(登録有形文化財：文化9年(1812)頃)

中社門前には、宿坊が建ち並び、その多くが明治時代以降に建てられたもので、中には江戸時代中期に遡るものも数棟ある。豪雪地帯特有の太い部材を用いて、茅葺の大屋根を持つどっしりとした構えを特徴とする。屋根形式は、寄棟造のものが多いが、中にはL字形に曲げられたものや凹字形を呈するものもある。

中社境内に最も近い位置にある旧徳善院本堂(極意家神殿)及び旧徳善院庫裏(極意家宿坊)は、文化8年(1811)焼失後の文化9年(1812)頃に再建されたものである。旧徳善院本堂(極意家神殿)は、木造平屋建、間口6間、奥行5間、平入、寄棟造茅葺、前面に唐破風を有した向拝が付く。他方、旧庫裏(宿坊)は、神殿と直角に配置され、木造2階建、間口11間、奥行7間半、入母屋造茅葺屋根の建物である。同じく中社の宿坊である神原旅館は、江戸時代まで奥社に宿坊を構えていた。現在も茅葺屋根を保った歴史的建造物で明治時代の建築である。

■新旧対照表 (No.9)

新 (99ページ)



横倉旅館
(明治4年(1871)～明治6年(1873)頃)

横倉旅館の3軒の宿坊が軒を連ねている。このうち横倉旅館は、極意家と同じく茅葺の建物である。さらに、中社大門通り沿いに位置する宿坊神原は、江戸時代まで奥社にあった宿坊の一つであり、現在も茅葺屋根の歴史的景観を伝えている。

宝光社門前の宿坊は、昭和20年(1945)の大火によって、大門通りから東側に位置する建物の多くを焼失したが、宝光社境内に比較的近いところに位置する宿坊は、この大火を免れたものもいくつかあり、中には江戸時代中期に遡るものもある。

宝光社門前の宿坊である越志旅館は、昭和20年(1945)の大火を免れた宿坊の一つで、寛政6年(1794)に建築された。現在宿坊として利用されている建物は、内部に神殿を設け、木造、間口12間、奥行6間、平入、寄棟造茅葺屋根で、一部に中2階がある。江戸時代までは客殿・庫裏として利用されており、客殿と庫裏の双方の機能を併せもった形式の代表的な建築である。

武井旅館は、棟札により、旧客殿部分が延享2年(1745)に建てられた宿坊で、木造平屋建、平入、寄棟造茅葺の建物である。さらに、大門通りに面する原山家住宅は、宿坊ではないものの、寄棟造茅葺屋根の旧主屋が、かつて宿坊岸本の庫裏であった建物を移築したものであり、



宿坊神原
(明治中期)



越志旅館(寛政6年(1794))



武井旅館(延享2年(1745))



原山家住宅旧主屋(明治初期以前)

旧 (99ページ)

宝光社門前の宿坊は、昭和20年(1945)の大火によって、大門通りから東側に位置する建物の多くを焼失したが、宝光社境内に比較的近いところに位置する宿坊は、この大火を免れたものもいくつかあり、中には江戸時代中期に遡るものもある。

宝光社門前の宿坊である越志旅館は、昭和20年(1945)の大火を免れた宿坊の一つで、江戸時代後期に建築された。現在宿坊として利用されている建物は、内部に神殿を設け、木造、間口12間、奥行6間、平入、寄棟造茅葺屋根で、一部に中2階がある。江戸時代までは客殿・庫裏として利用されており、客殿と庫裏の双方の機能を併せもった形式の代表的な建築である。

武井旅館は、棟札により、神殿を設けた部分が享保10年(1725)に建てられた宿坊で、木造平屋建、平入、寄棟造茅葺の建物である。さらに、大門通りに面する原山家住宅は、宿坊ではないものの、寄棟造茅葺屋根の旧主屋が、かつて宿坊岸本の庫裏であった建物を移築したものであり、宿坊建築の姿を今に示す貴重な歴史的建造物の一つである。

このように、奥社・中社・宝光社の三社は、峻厳な山容を備えた戸隠連峰を西方にいただき、周囲を豊かな自然に囲まれる中で、門前には他に類をみない宿坊建築群が建ち並んでいる。そして、これら山岳信仰の歴史を今に伝える奥社・中社・宝光社は、戸隠修験の旧態がよく保存されていることから、戦国時代末期に戸隠衆徒らが一時避難していた現小川村の筏ヶ峰三院跡とともに、昭和54年(1979)に「戸隠神社信仰遺跡」として県史跡に指定され、現在まで保護の体制がとられている。

戸隠神社では、奥社・中社・宝光社を中心に、年間通じて数々の年中行事がある(節末の「戸隠神社年中行事一覧」参照)。現在行われている年中行事は、明治維新後、戸隠神社となってから整えられたものであるが、その行事の端々には、江戸時代以前より続けられてきた神仏混淆時代の行事の内容を垣間みることができる。主なものに、5月の祈年祭(14日(中社)、15日(奥社)、16日(宝光社))、4月から10月にかけて毎月行われる月並祭(1日(中社)、15日(宝光社))、11月に行われる新嘗祭(22日(中社)、23日



越志旅館(江戸時代後期)



武井旅館(享保10年(1725))



原山家住宅旧主屋(明治時代初期以前)

■新旧対照表 (No.10)

新 (163ページ)

1 歴史的風致の維持及び向上に関する課題

ここまでの本市における文化財や歴史的風致の現状を踏まえ、歴史的風致の維持及び向上に向けた基本的な課題を検討した結果、次に記すいくつかの課題が明らかとなった。

(1) 歴史的建造物の保全と活用に関する課題

本市には、歴史的建造物やそれらが群をなして構成される歴史的まちなみが豊富に存在している。その一例をあげると、善光寺門前の仲見世や宿坊、戸隠中社及び宝光社門前の宿坊、松代城下町の旧武家屋敷や町家、鬼無里に代表される中山間地域の農家住宅、川田宿などの旧北国街道の宿場町にみえる町家等、枚挙にいとまがない。しかしながら、こうした歴史的建造物やまちなみの多くは、修理や修復に多額の費用



空き家となって急速に老朽化が進む民家

を要することもあって、適切な維持管理が行われないまま老朽化が進んでいる。これは、文化財の指定・未指定にかかわらずいえることで、まず、指定文化財をみると、国指定の建造物等は、国の助成があるため、概ね良好な維持管理がとられているものの、登録文化財並びに県指定及び市指定の文化財については、指定数が多いこともあって修理・修復が追いついていないのが現状である。さらに、未指定文化財については、指定文化財に比べてその価値が十分に認識されていないがゆえに、維持管理が行われないまま急速に老朽化が進み、中には失われてしまった貴重な建造物等も多々ある。

また、歴史的建造物の急速な老朽化や滅失の理由に、空き家の問題がある。市街地では、近年、こうした歴史的建造物の価値が見直されて、以前とは異なった用途で利活用されている例も見受けられるものの、その他の地域では、市街地・山間地を問わず多くの歴史的建造物が空き家となっており、十分に活用されているとは言い難い。くわえて、歴史的建造物の中には、耐震性が不足しているものも多く、公開・活用に関する課題の一つである。

(2) 伝統技術の継承に関する課題

歴史的建造物を維持管理していくための修理・修復を行うためには、現代の建築技術とは異なった伝統的な建築技術や構法を用いる必要がある。しかしながら、現在の木造建築をみると、木材加工の機械化や乾式工法の普及に伴い、こうした歴史的建造物を修理・修復するための伝統的技術が急速に失われてきている状況にある。

また、本市の歴史的建造物の特徴として、戸隠や鬼無里などの山間地には茅葺屋根のものが多く、かつて、こうした茅葺きの建物は、地域に大きな茅場を持ち、地域の茅葺き職人と住民の共同作業として屋根の葺き替えを行っていた。しかし、耐久性の高い金属製の屋根が一般的となった現在、茅葺きを維持し続けているところはほとんどない。このため、

旧 (163ページ)

1 歴史的風致の維持及び向上に関する課題

ここまでの本市における文化財や歴史的風致の現状を踏まえ、歴史的風致の維持及び向上に向けた基本的な課題を検討した結果、次に記すいくつかの課題が明らかとなった。

(1) 歴史的建造物の保全と伝統技術の継承に関する課題

本市には、歴史的建造物やそれらが群をなして構成される歴史的まちなみが豊富に存在している。その一例をあげると、善光寺門前の仲見世や宿坊、戸隠中社及び宝光社門前の宿坊、松代城下町の旧武家屋敷や町家、鬼無里に代表される中山間地域の農家住宅、川田宿などの旧北国街道の宿場町にみえる町家等、枚挙にいとまがない。しかしながら、こうした歴史的建造物やまちなみの多くは、修理や修復に多額の費用



空き家となって急速に老朽化が進む民家

を要することもあって、適切な維持管理が行われないまま老朽化が進んでいる。これは、文化財の指定・未指定にかかわらずいえることで、まず、指定文化財をみると、国指定の建造物等は、国の助成があるため、概ね良好な維持管理がとられているものの、登録文化財並びに県指定及び市指定の文化財については、指定数が多いこともあって修理・修復が追いついていないのが現状である。また、未指定文化財については、指定文化財に比べてその価値が十分に認識されていないがゆえに、維持管理が行われないまま急速に老朽化が進み、中には失われてしまった貴重な建造物等も多々ある。

また、歴史的建造物の急速な老朽化や滅失の理由に、空き家の問題がある。市街地では、近年、こうした歴史的建造物の価値が見直されて、以前とは異なった用途で利活用されている例も見受けられるものの、その他の地域では、市街地・山間地を問わず多くの歴史的建造物が空き家となっており、十分に活用されているとは言い難い。

加えて、こうした歴史的建造物を維持管理していくための修理・修復を行うためには、現代の建築技術とは異なった伝統的な建築技術や構法を用いる必要がある。しかしながら、現在の木造建築をみると、木材加工の機械化や乾式工法の普及に伴い、こうした歴史的建造物を修理・修復するための伝統的技術が急速に失われてきている状況にある。

(2) 歴史的まちなみと周辺環境の保全に関する課題

歴史的建造物単体が適切に保全されていたとしても、その周囲に連続して建ち並ぶ建造物を取り壊されて空き地や駐車場になると、まちなみ全体としての連続性が失われることになり、結果的に歴史的風致の維持及び向上を図ることができない。このことは、本市における善光寺門前、戸隠、松代、北国街道沿いといった歴史的まちなみや文化的景観を有する地区の大きな課題で、現状では、文化財や文化財に準じた歴史的建造物に関する所有

■新旧対照表 (No.11)

新 (164ページ)

働きの場の減少とともに茅葺きを行える職人が急速に減少し、伝統技術が失われつつある。

(3) 歴史的まちなみと周辺環境の保全に関する課題

歴史的建造物単体が適切に保全されていたとしても、その周囲に連続して建ち並ぶ建造物を取り壊されて空き地や駐車場になると、まちなみ全体としての連続性が失われることになり、結果的に歴史的風致の維持及び向上を図ることができない。このことは、本市における善光寺門前、戸隠、松代、北国街道沿いといった歴史的まちなみや文化的景観を有する地区の大きな課題で、現状では、文化財や文化財に準じた歴史的建造物に関する所有者の理解は得られても、まちなみの連続性や景観としての一体性などの観点から、それ以外の建物や敷地等の所有者からは、十分に理解が得られているとはいえない。



駐車場が進む歴史的市街地

また、本市の歴史的建造物が多数集積する地域は、道路幅員が狭くて歩道がない区間が多く、たとえ歩道が整備されていても自動車交通の激しさによって、歩行者がゆったりと歩くことができない状況にある。さらに、この歴史的建造物が集積する地域は、本市の代表的な観光地でもあることから、観光シーズンになると多くの観光客が押し寄せて交通問題が深刻化する。とりわけ、本市の観光地には、マイカーや大型バスで訪れる観光客が多いために、それに見合う駐車場の整備や道路整備等が問題となっている。しかしながら、駐車場の整備や道路整備等の内容によっては、本市の歴史的風致そのものが、逆に阻害されることにもなりかねない。一例として、善光寺周辺においては、善光寺境内の裏手に大きな駐車場があるものの、善光寺の門前には、歴史的建造物が集積していることもあって、多くの参拝者や観光客を受け入れることのできる駐車場が不足している。そのために、参拝者らが善光寺門前まで来ることなく善光寺参拝のみで終わってしまい、移動や回遊性が制限されている状況である。つまり、歴史的まちなみの保護と駐車場の確保という、二つの大きな課題がある。

また、松代地区や若穂川田地区などの歴史的市街地を結んでいた旧長野電鉄屋代線の廃線に伴い、今後、松代の中心市街地へ流入が増加するであろう自動車交通に対して、歩行者空間の確保と市街地へ流入する自動車の抑制など課題は多い。とりわけ、旧長野電鉄屋代線は、北国街道松代道にほぼ並行して走っており、廃線となった線路敷きの跡地利用の方法によっては、沿線における歴史的風致の維持及び向上にとって大きな影響を及ぼしかねない。さらに、屋代線開業当時から使用されている歴史的建造物としての駅舎等もあることから、旧長野電鉄屋代線全体の跡地活用については、こういった歴史的建造物等の利活用も含めた路線全体における利活用の課題がある。

また、松代地区や若穂川田地区などの歴史的市街地を結んでいた旧長野電鉄屋代線の廃線に伴い、今後、松代の中心市街地へ流入が増加するであろう自動車交通に対して、歩行者空間の確保と市街地へ流入する自動車の抑制など課題は多い。とりわけ、旧長野電鉄屋代線は、北国街道松代道にほぼ並行して走っており、廃線となった線路敷きの跡地利用の方法によっては、沿線における歴史的風致の維持及び向上にとって大きな影響を及ぼしかねない。さらに、屋代線開業当時から使用されている歴史的建造物としての駅舎等もあることから、旧長野電鉄屋代線全体の跡地活用については、こういった歴史的建造物等の利活用も含めた路線全体における利活用の課題がある。

旧 (164ページ)

者の理解は得られても、まちなみの連続性や景観としての一体性などの観点から、それ以外の建物や敷地等の所有者からは、十分に理解が得られているとはいえない。

また、本市の歴史的建造物が多数集積する地域は、道路幅員が狭くて歩道がない区間が多く、たとえ歩道が整備されていても自動車交通の激しさによって、歩行者がゆったりと歩くことができない状況にある。さらに、この歴史的建造物が集積する地域は、本市の代表的な観光地でもあることから、観光シーズンになると多くの観光客が押し寄せて交通問題が深刻化する。とりわけ、本市の観光地には、マイカーや大型バスで訪れる観光客が多いために、それに見合う駐車場の整備や道路整備等が問題となっている。しかしながら、駐車場の整備や道路整備等の内容によっては、本市の歴史的風致そのものが、逆に阻害されることにもなりかねない。一例として、善光寺周辺においては、善光寺境内の裏手に大きな駐車場があるものの、善光寺の門前には、歴史的建造物が集積していることもあって、多くの参拝者や観光客を受け入れることのできる駐車場が不足している。そのために、参拝者らが善光寺門前まで来ることなく善光寺参拝のみで終わってしまい、移動や回遊性が制限されている状況である。つまり、歴史的まちなみの保護と駐車場の確保という、二つの大きな課題がある。



駐車場が進む歴史的市街地

また、松代地区や若穂川田地区などの歴史的市街地を結んでいた旧長野電鉄屋代線の廃線に伴い、今後、松代の中心市街地へ流入が増加するであろう自動車交通に対して、歩行者空間の確保と市街地へ流入する自動車の抑制など課題は多い。とりわけ、旧長野電鉄屋代線は、北国街道松代道にほぼ並行して走っており、廃線となった線路敷きの跡地利用の方法によっては、沿線における歴史的風致の維持及び向上にとって大きな影響を及ぼしかねない。さらに、屋代線開業当時から使用されている歴史的建造物としての駅舎等もあることから、旧長野電鉄屋代線全体の跡地活用については、こういった歴史的建造物等の利活用も含めた路線全体における利活用の課題がある。

また、松代地区や若穂川田地区などの歴史的市街地を結んでいた旧長野電鉄屋代線の廃線に伴い、今後、松代の中心市街地へ流入が増加するであろう自動車交通に対して、歩行者空間の確保と市街地へ流入する自動車の抑制など課題は多い。とりわけ、旧長野電鉄屋代線は、北国街道松代道にほぼ並行して走っており、廃線となった線路敷きの跡地利用の方法によっては、沿線における歴史的風致の維持及び向上にとって大きな影響を及ぼしかねない。さらに、屋代線開業当時から使用されている歴史的建造物としての駅舎等もあることから、旧長野電鉄屋代線全体の跡地活用については、こういった歴史的建造物等の利活用も含めた路線全体における利活用の課題がある。

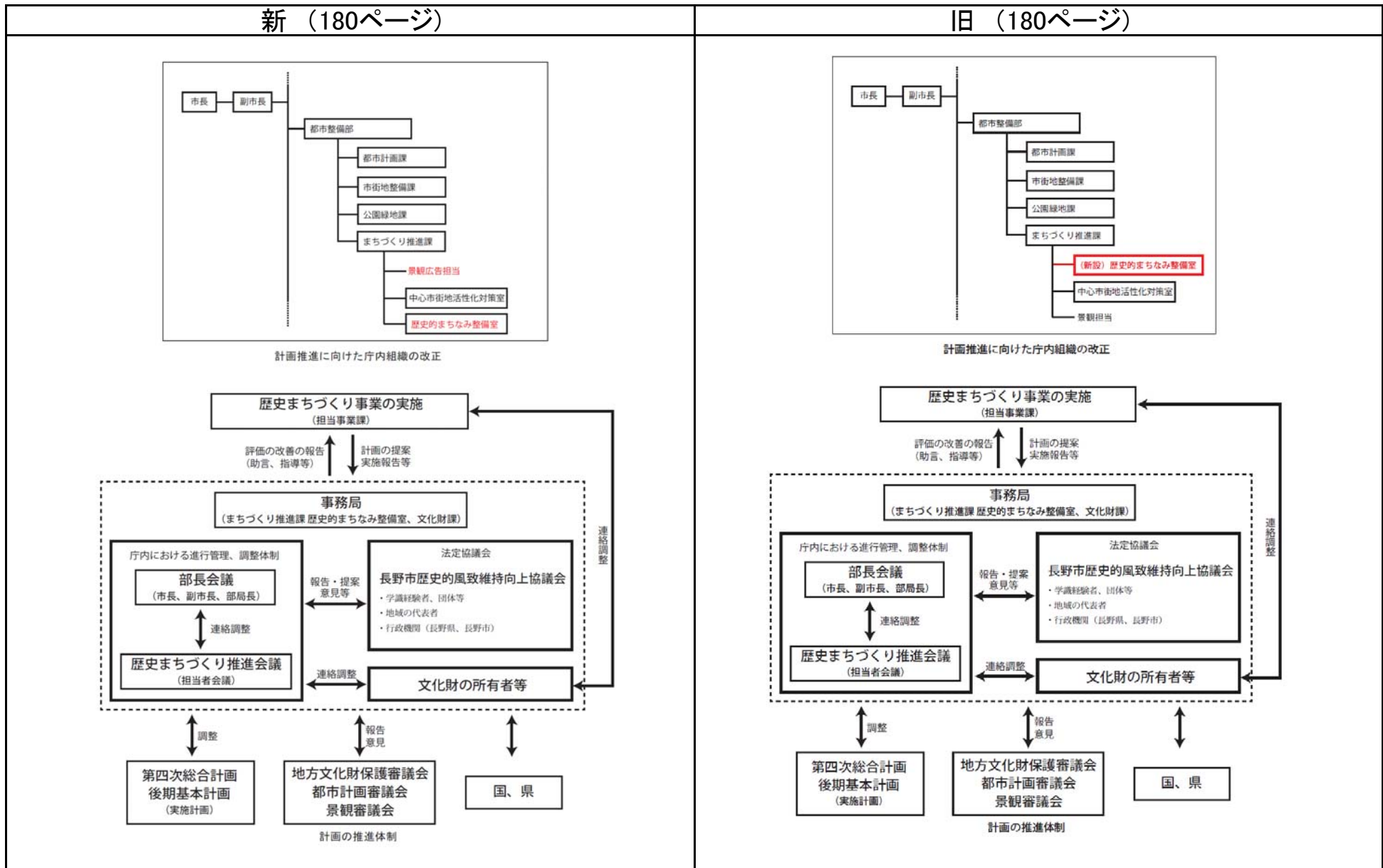
(3) 伝統的な祭礼等の継承に関する課題

本市には、善光寺とその門前町のみならず、真田十万石の城下町である松代、古くから神仏混濁の地として発展してきた戸隠、善光寺や戸隠への街道の要衝であった鬼無里など、複数の地域に、歴史的建造物や歴史的まちなみといった有形の歴史的遺産がみられるとともに、地域の人々によって大切に守り伝えられてきた無形の歴史的遺産である祭礼や伝統行事がある。この中には、善光寺、松代、鬼無里をはじめ、市内各地で行われている祇園祭のように毎年実施される祭礼もあれば、善光寺御開帳や戸隠の式年大祭のように、数え年で7年に1度行われる伝統的な祭礼もある。しかし、こうした伝統的な祭礼等は、近

■新旧対照表 (No.12)

新 (176ページ)	旧 (176ページ)
<p>3 歴史的風致の維持及び向上に関する方針</p> <p>(1) 歴史的建造物の保全と活用に関する方針</p> <p>市内の歴史的風致の核となる建造物のうち、重要文化財や史跡、さらには県指定ないし市指定の文化財で、既に必要な措置が講じられているものについては、引き続き、文化財保護法等に基づいて適切な保護措置を講じ、かつ積極的な活用を推進する。また、歴史的風致の核となる県指定ないし市指定の文化財であっても、適切な保護措置が講じられていない建造物等や、未指定の建造物であっても歴史的風致の核となる建造物等については、本計画に基づく歴史的風致形成建造物の指定を行うことにより、建造物の滅失を防止し、かつ修理等に対する支援を行うなどの保護措置を講じる。また、修理の際には、耐震診断も併せて実施し、必要な補強を行っていく。くわえて、建造物の積極的な活用を推進していくことによって、市民に対して広く建造物の価値を示していく。</p> <p>また、空き家となった歴史的建造物の滅失等を防ぐために、まちづくり活動を行う地元組織等と連携しながら、空き家に関する情報共有を行い、既存の建物用途にとらわれない建造物の利活用について検討を行う。</p> <p>(2) 伝統技術の継承に関する方針</p> <p>本市固有の歴史的まちなみや文化的景観を後世にわたって受け継いでいくためには、それらを構成する歴史的建造物等について適切な維持管理を行っていく必要がある。この目的を達成するためには、歴史的建造物の価値を損なうことのない適切な修理や修復の技術が求められてくる。つまり、いくら歴史的に貴重で特徴的なファサード等をもつ建造物であっても、修理・修復が中途半端なものでは、逆にその価値を下げてしまうことにもなりかねない。この適切な修理・修復には、伝統技術の活用が不可欠となってくる。したがって、歴史的まちなみや文化的景観を後世に伝えていくためには、伝統技術を用いた仕事の場を提供していく必要がある。</p> <p>伝統的建造物群保存地区制度や文化的景観制度により、こうした伝統技術を継承していく場の再生への契機にもなり得ることから、伝統的建造物群保存地区制度等の活用を検討していく。また、こうした地区が伝統技術を継承できる代表的な場ともなり得るように、住民や職人等と連携して伝統技術継承の仕組みづくりについて検討を行う。一例として、戸隠中社の北東に位置する戸隠スキー場中社グレンデには、茅葺屋根の材料として最適なススキがグレンデ一面に自生していることから、地域と連携して茅場の再生と活用を行い、伝統技術の継承を行う。</p> <p>(3) 歴史的まちなみと周辺環境の保全に関する方針</p> <p>本市における歴史的まちなみや文化的景観を保全していくためには、既に建て替えられて現に存在している建造物についても、周囲に調和したまちなみを目指して、長期的な視点で良好な景観形成に取り組む姿勢が必要である。そのための手法として代表的なものに、</p>	<p>3 歴史的風致の維持及び向上に関する方針</p> <p>(1) 歴史的建造物の保全と活用に関する方針</p> <p>市内の歴史的風致の核となる建造物のうち、重要文化財や史跡、さらには県指定ないし市指定の文化財で、既に必要な措置が講じられているものについては、引き続き、文化財保護法等に基づいて適切な保護措置を講じ、かつ積極的な活用を推進する。また、歴史的風致の核となる県指定ないし市指定の文化財であっても、適切な保護措置が講じられていない建造物等や、未指定の建造物であっても歴史的風致の核となる建造物等については、本計画に基づく歴史的風致形成建造物の指定を行うことにより、建造物の滅失を防止し、かつ修理等に対する支援を行うなどの保護措置を講じる。併せて、積極的な活用を推進していくことによって、市民に対して広く建造物の価値を示していく。</p> <p>また、空き家となった歴史的建造物の滅失等を防ぐために、まちづくり活動を行う地元組織等と連携しながら、空き家に関する情報共有を行い、既存の建物用途にとらわれない建造物の利活用について検討を行う。</p> <p>(2) 伝統技術の継承に関する方針</p> <p>本市固有の歴史的まちなみや文化的景観を後世にわたって受け継いでいくためには、それらを構成する歴史的建造物等について適切な維持管理を行っていく必要がある。この目的を達成するためには、歴史的建造物の価値を損なうことのない適切な修理や修復の技術が求められてくる。つまり、いくら歴史的に貴重で特徴的なファサード等をもつ建造物であっても、修理・修復が中途半端なものでは、逆にその価値を下げてしまうことにもなりかねない。この適切な修理・修復には、伝統技術の活用が不可欠となってくる。したがって、歴史的まちなみや文化的景観を後世に伝えていくためには、伝統技術を用いた仕事の場を提供していく必要がある。伝統的建造物群保存地区制度や文化的景観制度により、こうした伝統技術を継承していく場の再生への契機にもなり得ることから、伝統的建造物群保存地区制度等の活用を検討するとともに、その地区が伝統技術を継承できる代表的な場ともなり得るように、住民や職人等と連携して伝統技術継承の仕組みづくりについて検討を行う。</p> <p>(3) 歴史的まちなみと周辺環境の保全に関する方針</p> <p>本市における歴史的まちなみや文化的景観を保全していくためには、既に建て替えられて現に存在している建造物についても、周囲に調和したまちなみを目指して、長期的な視点で良好な景観形成に取り組む姿勢が必要である。そのための手法として代表的なものに、文化財保護法における伝統的建造物群保存地区制度と文化的景観の制度があり、地域固有の歴史的まちなみや文化的景観を有する自治体の多くが、これらの制度を積極的に活用して良好な景観形成を推進している。本市においては、現在、善光寺周辺地区を対象に伝統的建造物群保存地区（以下、伝建地区）の指定に向けた作業を進めているところであり、</p>

■新旧対照表 (No.13)



■新旧対照表 (No.14)

新 (223ページ)	旧 (223ページ)
<p>1 長野市全体にわたる方針</p> <p>(1) 文化財の保存活用の現状と今後の方針</p> <p>長野市には、国指定等の文化財及び県指定の文化財、市指定等の文化財は、510 件を数え、市内全域にわたって、有形、無形の文化財が分布している。</p> <p>合併を繰り返した長野市では、市域の広域化とともに文化財の総数も増加している。特に市指定文化財は、合併前の市町村ごとに文化財に対する取組み状況が異なっていたため、現行では指定物件の内容に地域差が生じている。また市域の拡大によって、地域で育まれてきた無数の有形・無形の文化財の把握が困難になり、価値が認識されないままに消失してしまうことも少なくない。文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度の活用を検討する。</p> <p>本市の国指定等文化財については、保存修理工事に併せて、個別の保存管理計画を策定している。今後は、その他指定文化財についても、多目的な利活用が見込まれることから、保存管理計画の策定も検討する。</p> <p>(2) 文化財の修理に関する方針</p> <p>文化財を後世に保存・継承するためには、経年変化による劣化状況を適切に把握しておくことが重要である。そのため、長野市では市所有の歴史的建造物を対象として、順次劣化状況診断を実施し、文化財の現況把握に努め、保存修理の方針、整備時期の検討を進める。また、国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。なお、文化財の修理や整備を行う際は、国指定等、県指定、市指定を問わず、歴史の真正性を担保するため、事前に歴史資料の調査を入念に行う。</p> <p>市所有以外の文化財については、所有者の適切な管理や計画的な修理を行う必要があり、所有者と行政機関との連携が基本となる。市では、年に1回所有者・管理者研修会を実施し、適切な文化財保護に関わる情報交換を進めるとともに、長野県文化財保護協会長野支部による協力のもと、文化財パトロールを実施しており、所有者・管理者との情報の共有化と連携の強化を進める。</p> <div data-bbox="651 815 981 1059" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="651 1059 981 1102" data-label="Caption"> <p>地方文化財保護審議会による建造物保存修理の現地指導</p> </div>	<p>1 長野市全体にわたる方針</p> <p>(1) 文化財の保存活用の現状と今後の方針</p> <p>長野市には、国指定等の文化財及び県指定の文化財、市指定等の文化財は、500 件を数え、市内全域にわたって、有形、無形の文化財が分布している。</p> <p>合併を繰り返した長野市では、市域の広域化とともに文化財の総数も増加している。特に市指定文化財は、合併前の市町村ごとに文化財に対する取組み状況が異なっていたため、現行では指定物件の内容に地域差が生じている。また市域の拡大によって、地域で育まれてきた無数の有形・無形の文化財の把握が困難になり、価値が認識されないままに消失してしまうことも少なくない。文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度の活用を検討する。</p> <p>本市の国指定等文化財については、保存修理工事に併せて、個別の保存管理計画を策定している。今後は、その他指定文化財についても、多目的な利活用が見込まれることから、保存管理計画の策定も検討する。</p> <p>(2) 文化財の修理に関する方針</p> <p>文化財を後世に保存・継承するためには、経年変化による劣化状況を適切に把握しておくことが重要である。そのため、長野市では市所有の歴史的建造物を対象として、順次劣化状況診断を実施し、文化財の現況把握に努め、保存修理の方針、整備時期の検討を進める。また、国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。なお、文化財の修理や整備を行う際は、国指定等、県指定、市指定を問わず、歴史の真正性を担保するため、事前に歴史資料の調査を入念に行う。</p> <p>市所有以外の文化財については、所有者の適切な管理や計画的な修理を行う必要があり、所有者と行政機関との連携が基本となる。市では、年に1回所有者・管理者研修会を実施し、適切な文化財保護に関わる情報交換を進めるとともに、長野県文化財保護協会長野支部による協力のもと、文化財パトロールを実施しており、所有者・管理者との情報の共有化と</p> <div data-bbox="1615 823 1944 1070" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1615 1070 1944 1114" data-label="Caption"> <p>地方文化財保護審議会による建造物保存修理の現地指導</p> </div>

■新旧対照表 (No.15)

新 (227ページ)

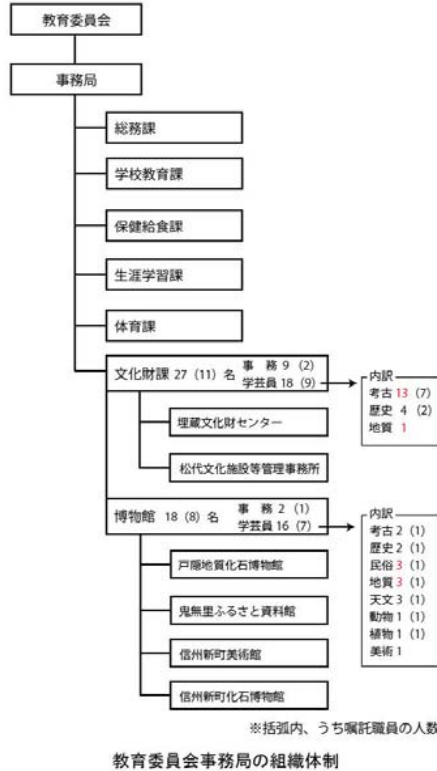
各専門分野は、近世史2名、考古1名、民俗1名、植物1名、建築史1名、宗教史1名である。

庁内の体制としては、文化財課（埋蔵文化財センター及び松代文化施設等管理事務所を含む）に、事務職9名、学芸員18名の計27人体制で、学芸員の専門は、考古13名、歴史4名、地質1名となっている。また、博物館には、事務職2名、学芸員16名の計18人がおり、その内訳は、「教育委員会事務局の組織体制」のとおりとなっている。

(9) 文化財の保存活用に関わっている住民、NPO等各種団体の状況及び体制の方針

長野市において、文化財の保存活用に関わる団体は、地域ごとに複数存在する。市内全域の文化財保護活動としては、長野県文化財保護協会長野支部があり、市と協働で文化財パトロールや所有者管理者研修会を実施しており、地域に根ざした文化財保護活動を実践している。また善光寺地区や松代地区、鬼無里地区では、まちづくりを進めるNPO等やボランティア組織が設立されており、独自の取り組みを展開している。

今後は、これらの各種団体の多様な活動をさらに活性化させるため、必要な情報提供や人材育成等を積極的に支援し、地域住民の主体による文化財保護活動を進めていく。



旧 (227ページ)

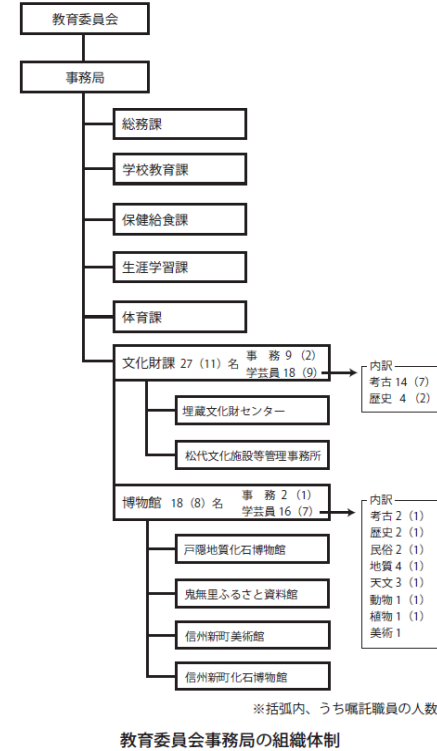
各専門分野は、近世史2名、考古1名、民俗1名、植物1名、建築史1名、宗教史1名である。

庁内の体制としては、文化財課（埋蔵文化財センター及び松代文化施設等管理事務所を含む）に、事務職9名、学芸員18名の計27人体制で、学芸員の専門は、考古14名、歴史4名となっている。また、博物館には、事務職2名、学芸員16名の計18人がおり、その内訳は、「教育委員会事務局の組織体制」のとおりとなっている。

(9) 文化財の保存活用に関わっている住民、NPO等各種団体の状況及び体制の方針

長野市において、文化財の保存活用に関わる団体は、地域ごとに複数存在する。市内全域の文化財保護活動としては、長野県文化財保護協会長野支部があり、市と協働で文化財パトロールや所有者管理者研修会を実施しており、地域に根ざした文化財保護活動を実践している。また善光寺地区や松代地区、鬼無里地区では、まちづくりを進めるNPO等やボランティア組織が設立されており、独自の取り組みを展開している。

今後は、これらの各種団体の多様な活動をさらに活性化させるため、必要な情報提供や人材育成等を積極的に支援し、地域住民の主体による文化財保護活動を進めていく。



■新旧対照表 (No.16)

新 (229ページ)	旧 (229ページ)
<p>戸隠神社に関わる無形文化財としては、戸隠神社太々神楽が長野市無形民俗文化財の指定を受けている。この神楽は、北信地域に分布する戸隠神社系統の太々神楽のおおもとに位置付けられる神楽であり、戸隠神社楽部によって、一山の神主が伝承する体制が整備されており、今後も適切な伝統文化継承を進めるための取り組みを支援する。</p> <p>戸隠の中社、宝光社の周辺には、伝統的な宿坊群が広がっている。これらの歴史的な建造物については、これまで本格的な保存対策調査が行われていないものの、善光寺周辺地区と同様に貴重な宿坊景観を有しているため、保存対策調査を実施して歴史的町並みの特性を把握する。</p> <div data-bbox="235 544 981 683" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・善光寺経蔵保存修理事業（平成 24 年度～平成 28 年度） ・無形文化財支援事業（平成 25 年度～平成 34 年度） ・善光寺本堂耐震補強事業（平成 26 年度） ・戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業（平成 26 年度～平成 28 年度） </div> <p>②松代・若穂川田地区</p> <p>現在、松代・若穂川田地区内には、122 件の指定等文化財が存在しており、城下町を中心として広域にわたって分布している。指定等文化財のうち、市所有の松代城跡、新御殿跡（真田邸）、旧文武学校、武家屋敷（旧横田家・旧前島家・旧樋口家・山寺常山邸）については、松代文化施設等管理事務所が保存管理、活用を進めている。中でも、旧前島家・旧樋口家・山寺常山邸の3施設は、地元団体による管理運営が行われており、今後も地元と協働で市所有文化財の保存管理と積極的な活用を進める。</p> <p>大室古墳群は、平成 9 年度から保存整備事業が継続中であり、事業担当課である長野市教育委員会文化財課が管理している。史跡外の大室古墳館の管理は地元協力会に委託しているが、事業の進捗に伴い、平成 26 年度からは、エントランスゾーン全体を一般公開する予定であり、より多くの方々に管理運営に参加してもらう体制づくりを進める。</p> <p>松代・若穂川田地区における無形文化財としては、八橋流箏曲や大門踊りがあり、無形民俗文化財としては、祇園祭に関係する勢獅子などが市の指定等を受けている。これらの市指定等を受けている無形の文化財については、保持者または保持団体が行う、文化財の記録作成、伝承者育成、その他保存・公開に必要な経費の支援事業を実施する。これ以外にも、町川田神社の御柱祭のような未指定の祭礼や伝統文化は多数残っており、今後も伝統文化継承のための調査を進める。</p> <p>また城下町に現存している歴史的建造物や水路・庭園などの中には、文化財指定等を受けていない物件も多く、松代地区の歴史的風致を維持・向上させるためには、これら未指定の物件に関する保全も重要な要素である。本市では、旧武家屋敷地であった四町（表柴町・馬場町・代官町・竹山町）を伝統環境保存区域に指定し、伝統環境保全の指導及び助成を実施するとともに、指定区域外に及ぶ歴史的建造物及び庭園の保全を進めるため、広</p>	<p>戸隠神社に関わる無形文化財としては、戸隠神社太々神楽が長野市無形民俗文化財の指定を受けている。この神楽は、北信地域に分布する戸隠神社系統の太々神楽のおおもとに位置付けられる神楽であり、戸隠神社楽部によって、一山の神主が伝承する体制が整備されており、今後も適切な伝統文化継承を進めるための取り組みを支援する。</p> <p>戸隠神社の中社、宝光社の周辺には、宿坊群が広がっている。これらの歴史的な建造物については、これまで本格的な保存対策調査が行われていないものの、善光寺周辺地区と同様に貴重な宿坊景観を有している。善光寺周辺地区の伝統的建造物群保存地区指定に向けた進捗状況に合わせて、可能な限り早い時期に保存対策調査を実施していくことが必要である。</p> <div data-bbox="1205 571 1962 647" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・善光寺経蔵保存修理事業（平成 24 年度～平成 28 年度） ・無形文化財支援事業（平成 25 年度～平成 34 年度） </div> <p>②松代・若穂川田地区</p> <p>現在、松代・若穂川田地区内には、122 件の指定等文化財が存在しており、城下町を中心として広域にわたって分布している。指定等文化財のうち、市所有の松代城跡、新御殿跡（真田邸）、旧文武学校、武家屋敷（旧横田家・旧前島家・旧樋口家・山寺常山邸）については、松代文化施設等管理事務所が保存管理、活用を進めている。中でも、旧前島家・旧樋口家・山寺常山邸の3施設は、地元団体による管理運営が行われており、今後も地元と協働で市所有文化財の保存管理と積極的な活用を進める。</p> <p>大室古墳群は、平成 9 年度から保存整備事業が継続中であり、事業担当課である長野市教育委員会文化財課が管理している。史跡外の大室古墳館の管理は地元協力会に委託しているが、事業の進捗に伴い、平成 26 年度からは、エントランスゾーン全体を一般公開する予定であり、より多くの方々に管理運営に参加してもらう体制づくりを進める。</p> <p>松代・若穂川田地区における無形文化財としては、八橋流箏曲や大門踊りがあり、無形民俗文化財としては、祇園祭に関係する勢獅子などが市の指定等を受けている。これらの市指定等を受けている無形の文化財については、保持者または保持団体が行う、文化財の記録作成、伝承者育成、その他保存・公開に必要な経費の支援事業を実施する。これ以外にも、町川田神社の御柱祭のような未指定の祭礼や伝統文化は多数残っており、今後も伝統文化継承のための調査を進める。</p> <p>また城下町に現存している歴史的建造物や水路・庭園などの中には、文化財指定等を受けていない物件も多く、松代地区の歴史的風致を維持・向上させるためには、これら未指定の物件に関する保全も重要な要素である。本市では、旧武家屋敷地であった四町（表柴町・馬場町・代官町・竹山町）を伝統環境保存区域に指定し、伝統環境保全の指導及び助成を実施するとともに、指定区域外に及ぶ歴史的建造物及び庭園の保全を進めるため、広域的な現況把握と国の登録制度の利用促進を図っている。特に松代の歴史的風致を特徴づ</p>

■新旧対照表 (No.17)

新 (233ページ)

期から明治時代の商家である市指定文化財の寺町商家についても、平成23年度から保存整備事業に着手しており、平成27年度の一般公開を予定している。本物件では商家としての特性を活かした利活用を図るため、整備前から市民ワークショップを開催して多様な意見を募っており、武家屋敷とは異なる商家の暮らし振りや賑わいが体感できる文化財としての利活用を進める予定である。



劣化の進む大英寺本堂 (長野県宝)

史跡大室古墳群では、平成9年度から平成25年度にかけて実施しているエントランスゾーン・施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集する遺構復原ゾーンの古墳の保存整備事業を予定している。事業では、古墳の保存修理とともに園路や説明板等の見学者の利便性向上、学校教育及び生涯学習の場としての利活用を推進するための設備整備を進める。

松代藩主真田家の菩提寺である長国寺は、境内地の大部分が史跡松代藩主真田家墓所に指定されている。史跡は、長国寺の境内地と真田家霊屋・墓所区域に大別されるが、長国寺が一体のものとして管理しており、平成17年(2005)に整備基本計画を策定している。平成18年度から平成23年度までの6年間に保存整備事業を実施しており、史跡内の環境整備が進められた。境内には重要文化財の真田信之霊屋、県宝の真田信弘霊屋、長国寺開山堂などの歴史的建造物が存在し、真田信弘霊屋及び長国寺開山堂は、劣化が進行しており対策が必要とされている。また松代地区内では、大英寺本堂、熊野出速雄神社本堂、林正寺本堂など、県指定文化財の劣化・破損が進行しており、早急な対策が求められている。今後は、県教育委員会との連携のもと、所有者との協議を進め、歴史的風致形成建造物の指定も視野に保存対策を講じる必要がある。

- ・ 史跡旧文武学校保存整備事業 (平成23年度～平成28年度)
- ・ 史跡大室古墳群保存整備事業 (平成26年度～)
- ・ 史跡松代城跡保存整備調査研究事業 (平成25年度)
- ・ 旧横田家住宅保存整備事業 (平成27年度～平成28年度)
- ・ 旧松代藩鐘楼広場整備事業 (平成24年度～平成25年度)
- ・ 寺町商家 (旧金箱家住宅) 保存整備事業 (平成23年度～平成26年度)
- ・ 県宝大英寺本堂保存修理事業 (平成26年度～平成30年度)

③ 鬼無里地区

鬼無里地区には、重要文化財1件と多数の市指定文化財建造物が存しており、適切な保存を進めるためには、計画的な保存修理を行うことが望ましい。国指定文化財の場合は、文化庁や県教育委員会との連携のもと、必要に応じて専門家による指導・助言を得て修理

旧 (233ページ)

備事業に着手しており、平成27年度の一般公開を予定している。本物件では商家としての特性を活かした利活用を図るため、整備前から市民ワークショップを開催して多様な意見を募っており、武家屋敷とは異なる商家の暮らし振りや賑わいが体感できる文化財としての利活用を進める予定である。



劣化の進む大英寺本堂 (長野県宝)

史跡大室古墳群では、平成9年度から平成25年度にかけて実施しているエントランスゾーン・

施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集する遺構復原ゾーンの古墳の保存整備事業を予定している。事業では、古墳の保存修理とともに園路や説明板等の見学者の利便性向上、学校教育及び生涯学習の場としての利活用を推進するための設備整備を進める。

松代藩主真田家の菩提寺である長国寺は、境内地の大部分が史跡松代藩主真田家墓所に指定されている。史跡は、長国寺の境内地と真田家霊屋・墓所区域に大別されるが、長国寺が一体のものとして管理しており、平成17年(2005)に整備基本計画を策定している。平成18年度から平成23年度までの6年間に保存整備事業を実施しており、史跡内の環境整備が進められた。境内には重要文化財の真田信之霊屋、県宝の真田信弘霊屋、長国寺開山堂などの歴史的建造物が存在し、真田信弘霊屋及び長国寺開山堂は、劣化が進行しており対策が必要とされている。また松代地区内では、大英寺本堂、熊野出速雄神社本堂、林正寺本堂など、県指定文化財の劣化・破損が進行しており、早急な対策が求められている。今後は、県教育委員会との連携のもと、所有者との協議を進め、歴史的風致形成建造物の指定も視野に保存対策を講じる必要がある。

- ・ 史跡旧文武学校保存整備事業 (平成23年度～平成28年度)
- ・ 史跡大室古墳群保存整備事業 (平成26年度～)
- ・ 史跡松代城跡保存整備調査研究事業 (平成25年度)
- ・ 旧横田家住宅保存整備事業 (平成27年度～平成28年度)
- ・ 旧松代藩鐘楼広場整備事業 (平成24年度～平成25年度)
- ・ 寺町商家 (旧金箱家住宅) 保存整備事業 (平成23年度～平成26年度)

③ 鬼無里地区

鬼無里地区には、重要文化財1件と多数の市指定文化財建造物が存しており、適切な保存を進めるためには、計画的な保存修理を行うことが望ましい。国指定文化財の場合は、文化庁や県教育委員会との連携のもと、必要に応じて専門家による指導・助言を得て修理を行うことが必要である。市指定文化財の場合には、文化財保護条例に基づく文化財保護

■新旧対照表 (No.18)

新 (235ページ)	旧 (235ページ)
<p>て不適切な状況となっている。このため、本市では、現在、真田宝物館の設置場所も含めた「松代文化財活用推進計画」を策定中である。</p> <p>真田宝物館内には、松代文化施設等管理事務所が併設されており、松代地区内の市所有文化財の統轄管理を行っている。また同館では収蔵資料に関する調査研究を進めるとともに、文化財ボランティアの会を組織し、市民と共に松代地区の歴史的資産を掘り起こし、また広く市民に伝える役割を担っている。特に町全体に文化財が点在する松代地区では、その継承者である地域住民の協力がなければ、文化財の保存活用はありえない。その前提の下、地域住民に松代の文化財を再認識してもらい、共感を得ながら、最終的には文化財保存活用に参加してもらおう機会を創出することを長期的な目標としている。</p> <p>また松代地区では、市外からの来訪者を特定施設に集客するのではなく、まち全体を回遊する「まち歩き」の促進を前提としたまちづくりを進めている。まち歩きでは、来訪者が松代地区の重層的な歴史的情報を得て、文化財の見方や楽しみ方を発見する仕掛けづくりが重要となる。現在の松代地区には、この総合的な松代地区の文化財紹介を行うインフォメーション機能が不足している。</p> <p>これらの現況から、松代地区における真田宝物館の役割は、所蔵文化財の収蔵・展示機能にとどまらず、継続的な調査研究と最新の情報発信、また市民参加による文化財保存活用の推進拠点としての機能をもち合わせており、今後は市外からの来訪者に対する文化財インフォメーションの機能を追加することが必要である。この松代地区における総合拠点を整備することにより、松代地区に点在する多彩な文化財の歴史的魅力が高まり、市民及び市外からの来訪者に対しても文化財に対する深い理解を提供することが可能になる。また松代地区内の回遊性を高めるためには、中心部への車の流入防止を図り、周囲の歴史的景観に配慮した上で、市街地の周辺部に駐車場を整備する必要がある。現在の真田宝物館駐車場及び殿町観光駐車場は、松代城跡の旧城郭域に位置するため、松代城跡東側の旧長野電鉄屋代線敷地内に駐車場整備を予定する。</p> <p>また、松代地区東部の大室古墳群までの経路は、普通車のすれ違いも困難な幅員の狭い道路であるため、史跡の適切な管理保全及び学校教育等の利用に支障をきたしている。今後は、市民及び市外からの来訪者の利便性を高め、学校教育や生涯学習の場としてさらなる利活用を図るため、アクセス道路整備のための調査検討を進める。</p> <div data-bbox="224 1181 963 1284" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・松代町文化財保存活用推進事業 (平成 25 年度～) ・松代城跡東側駐車場整備事業 (平成 25 年度～平成 28 年度) ・史跡大室古墳群アクセス道路整備調査検討事業 (平成 25 年度～平成 26 年度) </div> <p>③鬼無里地区</p> <p>鬼無里地区の文化財は、民間の所有で長野市所有の文化財はないが、文化財の収蔵展示公開施設としては、長野市立博物館分館鬼無里ふるさと資料館が存在する。鬼無里ふるさと</p>	<p>た「松代文化財活用推進計画」を策定中である。</p> <p>真田宝物館内には、松代文化施設等管理事務所が併設されており、松代地区内の市所有文化財の統轄管理を行っている。また同館では収蔵資料に関する調査研究を進めるとともに、文化財ボランティアの会を組織し、市民と共に松代地区の歴史的資産を掘り起こし、また広く市民に伝える役割を担っている。特に町全体に文化財が点在する松代地区では、その継承者である地域住民の協力がなければ、文化財の保存活用はありえない。その前提の下、地域住民に松代の文化財を再認識してもらい、共感を得ながら、最終的には文化財保存活用に参加してもらおう機会を創出することを長期的な目標としている。</p> <p>また松代地区では、市外からの来訪者を特定施設に集客するのではなく、まち全体を回遊する「まち歩き」の促進を前提としたまちづくりを進めている。まち歩きでは、来訪者が松代地区の重層的な歴史的情報を得て、文化財の見方や楽しみ方を発見する仕掛けづくりが重要となる。現在の松代地区には、この総合的な松代地区の文化財紹介を行うインフォメーション機能が不足している。</p> <p>これらの現況から、松代地区における真田宝物館の役割は、所蔵文化財の収蔵・展示機能にとどまらず、継続的な調査研究と最新の情報発信、また市民参加による文化財保存活用の推進拠点としての機能をもち合わせており、今後は市外からの来訪者に対する文化財インフォメーションの機能を追加することが必要である。この松代地区における総合拠点を整備することにより、松代地区に点在する多彩な文化財の歴史的魅力が高まり、市民及び市外からの来訪者に対しても文化財に対する深い理解を提供することが可能になる。また松代地区内の回遊性を高めるためには、中心部への車の流入防止を図り、周囲の歴史的景観に配慮した上で、市街地の周辺部に駐車場を整備する必要がある。現在の真田宝物館駐車場及び殿町観光駐車場は、松代城跡の旧城郭域に位置するため、松代城跡東側の旧長野電鉄屋代線敷地内に駐車場整備を予定する。</p> <p>また、松代地区東部の大室古墳群までの経路は、普通車のすれ違いも困難な幅員の狭い道路であるため、史跡の適切な管理保全及び学校教育等の利用に支障をきたしている。今後は、市民及び市外からの来訪者の利便性を高め、学校教育や生涯学習の場としてさらなる利活用を図るため、アクセス道路整備のための調査検討を進める。</p> <div data-bbox="1209 1157 1937 1252" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・松代町文化財保存活用推進事業 (平成 25 年度～) ・松代城跡東側駐車場整備事業 (平成 25 年度) ・史跡大室古墳群アクセス道路整備調査検討事業 (平成 25 年度～平成 26 年度) </div> <p>③鬼無里地区</p> <p>鬼無里地区の文化財は、民間の所有で長野市所有の文化財はないが、文化財の収蔵展示公開施設としては、長野市立博物館分館鬼無里ふるさと資料館が存在する。鬼無里ふるさと資料館は、合併前に、歴史民俗資料館 (麻・歴史の歩みを展示)、山国文化伝承館 (屋台、</p>

■新旧対照表 (No.19)

新 (237ページ)	旧 (237ページ)
<p>線類移設・地中化、道路の美装化を行い、周辺の歴史的建造物と一体となった良好な景観形成に取り組んでいく。さらに、市民や観光客のまち歩きをより一層推進するために、文化財等に関する説明板や歩行者案内板の充実を図っていく。とりわけ、善光寺から戸隠に至る古道においては、歩行者案内板が不足していることから、現状を調査した上で、適切な位置に周辺景観にあったものを順次整備していく。</p> <div data-bbox="235 446 981 550" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・善光寺周辺地域道路美装化事業（平成15年度～平成27年度） ・善光寺周辺地域電線類地中化事業（平成17年度～平成27年度） ・戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業（平成30年度～平成34年度） </div> <p>②松代・若穂川田地区</p> <p>文化財を取り巻く周辺環境は多様であり、松代・若穂川田地区においては、地区内の特性を活かした景観保全が望まれる。現在、松代地区の景観保全としては、景観法に基づく景観計画推進地区や市独自条例による伝統環境保存区域などの景観保全地区が定められているが、歴史的景観を保全する上では十分に機能していない。景観計画推進地区における届出は1,000㎡以上の大規模開発に限られており、伝統環境保存区域についても、同じく届出制で罰則がないとともに、その範囲が限定されている。これは歴史的建造物が広域にわたって点在する松代地区では、行政主導の景観規制よりも所有者の保全意識の向上を促すゆるやかな景観誘導が望ましいと判断したためである。しかしながら結果として、景観に不調和な建造物が築造されることや、歴史的景観を有していた建造物が消失する結果を招いており、歴史的まちなみの景観保全意識は十分に浸透していないことが窺える。松代地区全体の景観保全は広域にわたるため、行政の関係部局間や地元住民との合意形成に時間を要することが予想されるが、松代地区内のゾーンごとに保全すべき歴史的景観と調和する周辺環境の具体的方針を検討する必要がある。</p> <p>また、史跡松代城跡や史跡旧文武学校などの文化財が集積する松代の中心市街地においては、平成14年度以降、街なみ環境整備事業を導入して、建物修景や電線類地中化、道路の美装化を進めてきた。今後も引き続き、電線類地中化や道路の美装化等を順次進めていく。さらに、文化財の説明板や案内板の設置については、街なみ環境整備事業を導入している松代の市街地においては進んでいるものの、それ以外の地域においては不足しているところもあるため、今後、順次整備を進めていく。</p> <p>③鬼無里地区</p> <p>鬼無里地区は、裾花川沿いの裾花溪谷が「特色のある景観形成を特に推進する地区」にあげられているが、重点区域はそれからは外れている。また都市計画区域外であり、豊かな自然環境に囲まれた山間地地域が広がっている。また、長野市景観計画の地域区分では山地に包括され、屋根は勾配屋根、周辺や背景の山並みとの調和、建築物の高さは周辺の</p>	<p>形成に取り組んでいく。さらに、市民や観光客のまち歩きをより一層推進するために、文化財等に関する説明板や歩行者案内板の充実を図っていく。とりわけ、善光寺から戸隠に至る古道においては、歩行者案内板が不足していることから、現状を調査した上で、適切な位置に周辺景観にあったものを順次整備していく。</p> <div data-bbox="1214 427 1955 531" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・善光寺周辺地域道路美装化事業（平成15年度～平成27年度） ・善光寺周辺地域電線類地中化事業（平成17年度～平成27年度） ・戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業（平成25年度～平成27年度） </div> <p>②松代・若穂川田地区</p> <p>文化財を取り巻く周辺環境は多様であり、松代・若穂川田地区においては、地区内の特性を活かした景観保全が望まれる。現在、松代地区の景観保全としては、景観法に基づく景観計画推進地区や市独自条例による伝統環境保存区域などの景観保全地区が定められているが、歴史的景観を保全する上では十分に機能していない。景観計画推進地区における届出は1,000㎡以上の大規模開発に限られており、伝統環境保存区域についても、同じく届出制で罰則がないとともに、その範囲が限定されている。これは歴史的建造物が広域にわたって点在する松代地区では、行政主導の景観規制よりも所有者の保全意識の向上を促すゆるやかな景観誘導が望ましいと判断したためである。しかしながら結果として、景観に不調和な建造物が築造されることや、歴史的景観を有していた建造物が消失する結果を招いており、歴史的まちなみの景観保全意識は十分に浸透していないことが窺える。松代地区全体の景観保全は広域にわたるため、行政の関係部局間や地元住民との合意形成に時間を要することが予想されるが、松代地区内のゾーンごとに保全すべき歴史的景観と調和する周辺環境の具体的方針を検討する必要がある。</p> <p>また、史跡松代城跡や史跡旧文武学校などの文化財が集積する松代の中心市街地においては、平成14年度以降、街なみ環境整備事業を導入して、建物修景や電線類地中化、道路の美装化を進めてきた。今後も引き続き、電線類地中化や道路の美装化等を順次進めていく。さらに、文化財の説明板や案内板の設置については、街なみ環境整備事業を導入している松代の市街地においては進んでいるものの、それ以外の地域においては不足しているところもあるため、今後、順次整備を進めていく。</p> <p>③鬼無里地区</p> <p>鬼無里地区は、裾花川沿いの裾花溪谷が「特色のある景観形成を特に推進する地区」にあげられているが、重点区域はそれからは外れている。また都市計画区域外であり、豊かな自然環境に囲まれた山間地地域が広がっている。また、長野市景観計画の地域区分では山地に包括され、屋根は勾配屋根、周辺や背景の山並みとの調和、建築物の高さは周辺の樹林以下などとする景観形成基準が定められている。</p>

■新旧対照表 (No.20)

新 (238ページ)	旧 (238ページ)
<p>樹林以下などとする景観形成基準が定められている。</p> <p>鬼無里地区においては、豊かな自然環境の中で景観計画に基づいた景観形成が行われているが、神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。</p> <p>(5) 文化財の防災に関する具体的な計画</p> <p>文化財の防災に関しては、長野市全体の項で示した「文化財の防災に関する方針」にしたがって適切に行っていく。</p> <p>①善光寺・戸隠地区</p> <p>国宝善光寺本堂については平成 22・23 年度に、重要文化財善光寺経蔵については、平成 24・25 年度に耐震基礎診断事業を実施しており、速やかに適切な耐震対策を計画し、実施する必要がある。</p> <p>また善光寺・戸隠地区には、彫刻や工芸品、書籍など多数の重要文化財や県・市指定の有形文化財が存在する。歴史的建造物の防災性を向上させるとともに、これらの収蔵施設等の現況課題を整理し、適切な防犯体制を構築する。</p> <p>②松代・若穂川田地区</p> <p>松代・若穂川田地区の文化財は、積極的な利活用の推進を目標としているため、市所有の新御殿跡、旧文武学校、旧松代藩鐘楼、寺町商家などの文化財では、保存修理に併せて耐震基礎診断・耐震補強を実施しており、自動火災報知機や消火設備、避雷針設備等の防災設備の設置も推進している。今後は、文化財パトロール時の点検を含め、地元消防団や消防署と連携した防火訓練を定期的の実施し、地域住民の防災意識高揚に努める。併せて、防災意識に密接に関係する防犯意識についても、文化財所有者を中心に意識の向上を図っていく。</p> <p>また、歴史的建造物の防災性を向上させるため、必要箇所に耐震性貯水槽（防火水槽）の設置を進める。さらに、多数の彫刻や工芸品についても、日常的な維持管理や点検を行い、防犯に努める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・耐震性貯水槽整備事業（平成 28 年度～平成 34 年度）</p> </div> <p>③鬼無里地区</p> <p>鬼無里地区の文化財は、民間所有の神社本殿が多いため、自動火災報知機や消火設備、避雷針設備等の防災設備の設置及び更新について指導助言し、適切な設備配置を実施する。特に神社等は、無人になることが多いため、文化財の点検とともに防災設備の点検を文化財パトロール時に行うことを必須事項とし、地元消防団や消防署との連携した防火訓練を</p>	<p>鬼無里地区においては、豊かな自然環境の中で景観計画に基づいた景観形成が行われているが、神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。</p> <p>(5) 文化財の防災に関する具体的な計画</p> <p>文化財の防災に関しては、長野市全体の項で示した「文化財の防災に関する方針」にしたがって適切に行っていく。</p> <p>①善光寺・戸隠地区</p> <p>国宝善光寺本堂については平成 22・23 年度に、重要文化財善光寺経蔵については、平成 24・25 年度に耐震基礎診断事業を実施しており、速やかに適切な耐震対策を計画し、実施する必要がある。</p> <p>また善光寺・戸隠地区には、彫刻や工芸品、書籍など多数の重要文化財や県・市指定の有形文化財が存在する。歴史的建造物の防災性を向上させるとともに、これらの収蔵施設等の現況課題を整理し、適切な防犯体制を構築する。</p> <p>②松代・若穂川田地区</p> <p>松代・若穂川田地区の文化財は、積極的な利活用の推進を目標としているため、市所有の新御殿跡、旧文武学校、旧松代藩鐘楼、寺町商家などの文化財では、保存修理に併せて耐震基礎診断・耐震補強を実施しており、自動火災報知機や消火設備、避雷針設備等の防災設備の設置も推進している。今後は、文化財パトロール時の点検を含め、地元消防団や消防署と連携した防火訓練を定期的の実施し、地域住民の防災意識高揚に努める。併せて、防災意識に密接に関係する防犯意識についても、文化財所有者を中心に意識の向上を図っていく。</p> <p>また、歴史的建造物の防災性を向上させるため、必要箇所に耐震性貯水槽（防火水槽）の設置を進める。さらに、多数の彫刻や工芸品についても、日常的な維持管理や点検を行い、防犯に努める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・耐震性貯水槽整備事業（平成 26 年度）</p> </div> <p>③鬼無里地区</p> <p>鬼無里地区の文化財は、民間所有の神社本殿が多いため、自動火災報知機や消火設備、避雷針設備等の防災設備の設置及び更新について指導助言し、適切な設備配置を実施する。特に神社等は、無人になることが多いため、文化財の点検とともに防災設備の点検を文化財パトロール時に行うことを必須事項とし、地元消防団や消防署との連携した防火訓練を定期的の実施して地域住民の防災意識を高め、防災対策の充実と強化を図る。また、無指</p>

■新旧対照表 (No.21)

新 (242ページ)

指して、住んで暮らしやすい、訪れて心癒えるまちづくりを目指して平成13年度に発足した団体である。松代の歴史・文化・人物の掘り起こしを目指した「松代学講座」や歴史的建造物保全を目的とした文化財の登録制度の積極的活用、武家屋敷の庭園を巡る「お庭拝見」など、多様なまちづくり活動を展開している。平成23年度からは旧樋口家住宅の管理運営業務を市より受託するとともに、町屋区域の既存建造物を活かした「まち歩きセンター」を開設しており、まちなかの魅力作りに加え地域住民と観光客との交流の場として機能している。



夢空間のお庭拝見



エコール・ド・まつしろ倶楽部



寺町商家ワークショップ

平成16年度には、松代の歴史的な文化財を活かし、生涯学習活動を通じた観光交流を進めるため「エコール・ド・まつしろ倶楽部」が発足した。倶楽部には、華道や茶道、邦楽、郷土食、武道などの多様な専科が、文化財を舞台とした生涯学習交流を進めている。弓道専科による旧文武学校での弓道体験、囲碁専科による旧前島家住宅での囲碁道場、華道専科による文化財施設での華展など、年間を通じた多彩な取り組みが地域に根付き始めている。

これらの団体は、現在でも継続的に活動を進めているが、どの団体でも会員の高齢化やメンバーの固定化、事業のマンネリ化などが課題となっている。また地域住民の中でも文化財保護活用に強く興味を持つ層と関心が低い層の温度差が顕著になっている。現在、市で進めている寺町商家保存整備に関わるワークショップでは、文化財施設での食文化の発信を検討しており、これまでに文化財保護活用の活動を支えてきた方々に加え、飲食店の経営者や農産物生産者など、異なる分野で活躍されている方々に多数参加していただいている。

また、歴史的風致維持向上計画の認定後の動きとしては、若穂川田地域において、「川田宿ガイドの会」が平成25年6月12日に発足した。この会は、歴史的風致維持向上計画の認定を受けて設立された団体で、川田宿見学者の案内並びに案内を通じて会員の資質向上と川田宿の発展に寄与することを目的としている。

今後は、興味やニーズに応じて参加できる多彩なプログラムの企画や既存団体同士の相互交流の活性化、また地元大学や高等学校などと連携した取り組みを展開することにより、

旧 (242ページ)

して、住んで暮らしやすい、訪れて心癒えるまちづくりを目指して平成13年度に発足した団体である。松代の歴史・文化・人物の掘り起こしを目指した「松代学講座」や歴史的建造物保全を目的とした文化財の登録制度の積極的活用、武家屋敷の庭園を巡る「お庭拝見」など、多様なまちづくり活動を展開している。平成23年度からは旧樋口家住宅の管理運営業務を市より受託するとともに、町屋区域の既存建造物を活かした「まち歩きセンター」を開設しており、まちなかの魅力作りに加え地域住民と観光客との交流の場として機能している。



エコール・ド・まつしろ倶楽部



寺町商家ワークショップ

平成16年度には、松代の歴史的な文化財を活かし、生涯学習活動を通じた観光交流を進めるため「エコール・ド・まつしろ倶楽部」が発足した。倶楽部には、華道や茶道、邦楽、郷土食、武道などの多様な専科が、文化財を舞台とした生涯学習交流を進めている。弓道専科による旧文武学校での弓道体験、囲碁専科による旧前島家住宅での囲碁道場、華道専科による文化財施設での華展など、年間を通じた多彩な取り組みが地域に根付き始めている。

これらの団体は、現在でも継続的に活動を進めているが、どの団体でも会員の高齢化やメンバーの固定化、事業のマンネリ化などが課題となっている。また地域住民の中でも文化財保護活用に強く興味を持つ層と関心が低い層の温度差が顕著になっている。現在、市で進めている寺町商家保存整備に関わるワークショップでは、文化財施設での食文化の発信を検討しており、これまでに文化財保護活用の活動を支えてきた方々に加え、飲食店の経営者や農産物生産者など、異なる分野で活躍されている方々に多数参加していただいている。今後は、興味やニーズに応じて参加できる多彩なプログラムの企画や既存団体同士の相互交流の活性化、また地元大学や高等学校などと連携した取り組みを展開することにより、新たな文化財保護活動を推進する。

③鬼無里地区

鬼無里地区内には文化財の保存活用に関わる住民・団体は、「ふるさと草子刊行会」がある。旧鬼無里村在住、出身者10余名でつくる団体で、これまでに『源氏伝説のふるさと一信州鬼無里の伝承』（昭和60年（1985））、『きしりに彫る一鬼無里の山居仏』（昭和61年（1986））、『北村喜代松一宮彫りの名工』（平成16年（2004））、『和算家北明寺島宗伴一写真でたどる足跡』（平成17年（2005））、『信越古道一越後梶屋敷から信濃鬼無里・

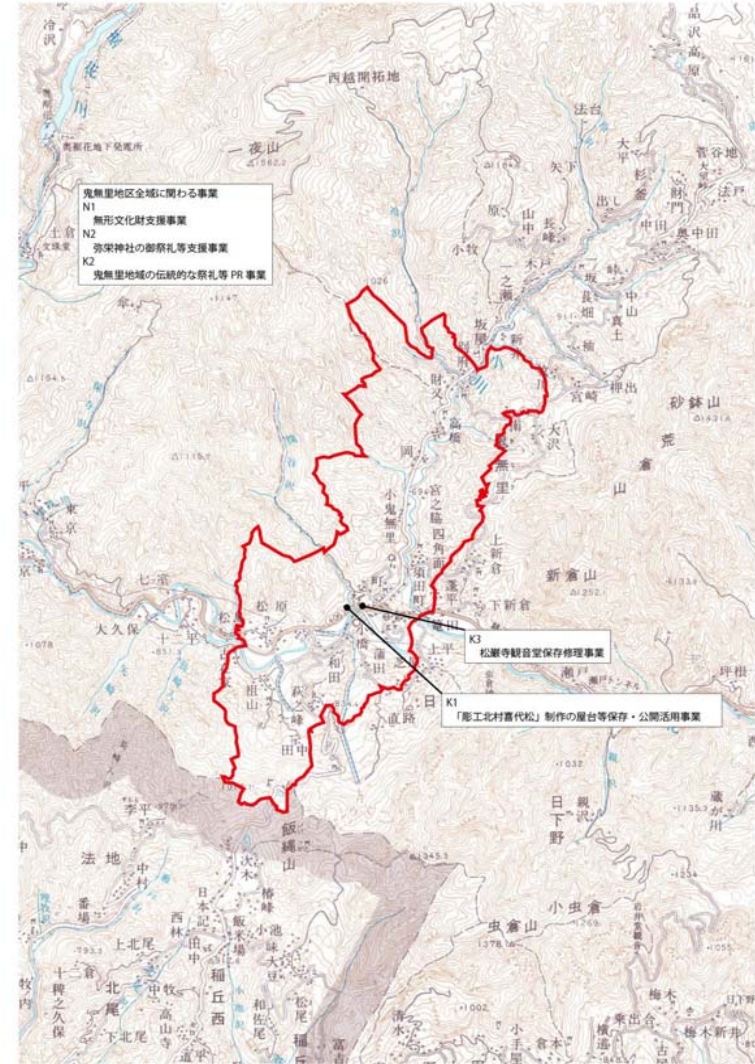
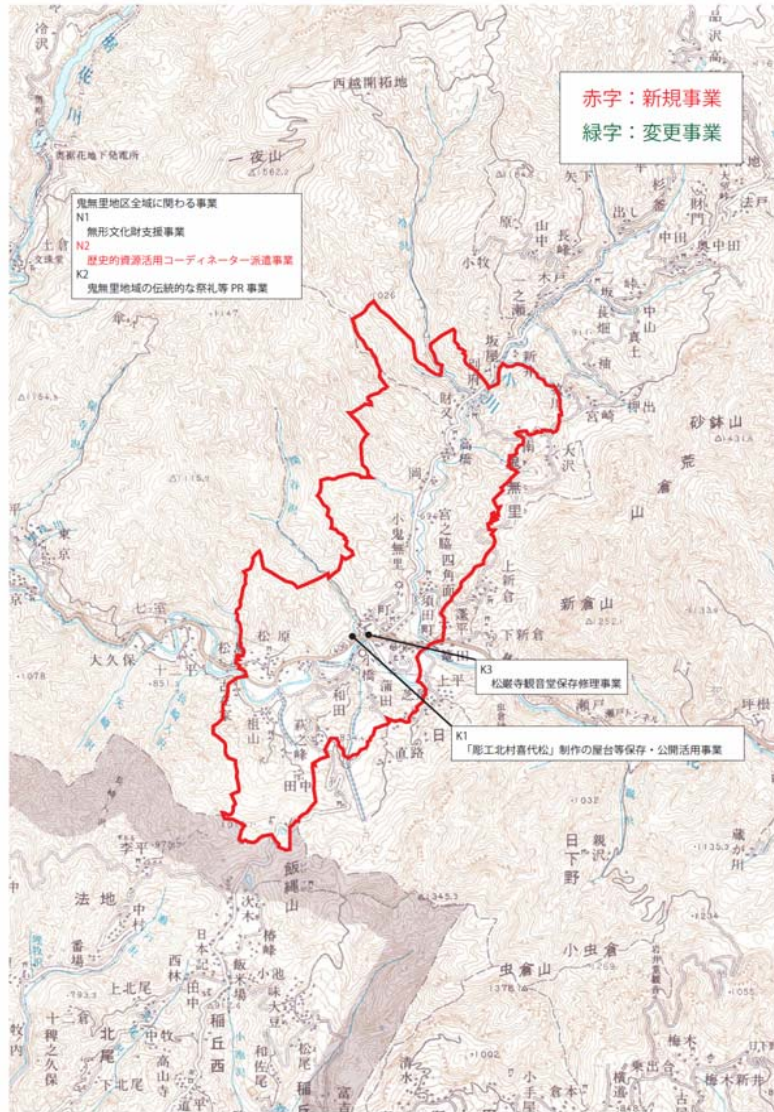
■新旧対照表 (No.22)

新 (243ページ)	旧 (243ページ)
<p>新たな文化財保護活動を推進する。</p> <p>③鬼無里地区</p> <p>鬼無里地区内には文化財の保存活用に関わる住民・団体は、「ふるさと草子刊行会」がある。旧鬼無里村在住、出身者 10 余名でつくる団体で、これまでに『源氏伝説のふるさと—信州鬼無里の伝承』(昭和 60 年 (1985))、『きしりに影る—鬼無里の山居仏』(昭和 61 年 (1986))、『北村喜代松—宮彫りの名工』(平成 16 年 (2004))、『和算家北明寺島宗伴—写真でたどる足跡』(平成 17 年 (2005))、『信越古道—越後梶屋敷から信濃鬼無里・麻績宿へ』(平成 19 年 (2007)) など 8 冊の研究書を刊行している。鬼無里にゆかりの深いテーマを設定し、研究会を重ねてその成果を単行本にまとめ、一般の供覧に供している。そのほか「寺島宗伴をしのぶ会」があり、地域住民の人々によって、松巖寺にある和算家寺島宗伴の五輪塔、鬼無里^{まろはたけ}長畑にある墓地の清掃活動などを行っており、「鬼無里案内ボランティアの会」(会員 20 名余り) が文化財や鬼無里自然園などの案内をボランティアで行っている。</p> <p>歴史的風致維持向上計画の認定後の動きとしては、鬼無里地区固有の歴史的風致の維持及び向上を図ることを目的に、「鬼無里地域歴史的風致維持向上協議会」が平成 25 年 4 月 30 日に結成され、認定計画と連動した活動をはじめている。</p> <p>既存の団体とともに文化財周辺や地域において新たな保存団体や愛護団体等の設立の動きがある場合には、その設立や活動の支援をし、必要に応じて市の「ながのまちづくり活動支援事業補助金」などを活用した財政的な支援を検討する。</p> <p>また、鬼無里地区住民自治協議会のもとで、まちづくり協議会の設立の動きがある。設立後は地域コミュニティの中核として、活動への助成や組織活動の維持、団体の育成等について市が主体的に関わっていく。</p>	<p>麻績宿へ』(平成 19 年 (2007)) など 8 冊の研究書を刊行している。鬼無里にゆかりの深いテーマを設定し、研究会を重ねてその成果を単行本にまとめ、一般の供覧に供している。そのほか「寺島宗伴をしのぶ会」があり、地域住民の人々によって、松巖寺にある和算家寺島宗伴の五輪塔、鬼無里^{まろはたけ}長畑にある墓地の清掃活動などを行っている。そのほか、「鬼無里案内ボランティアの会」(会員 20 名余り) が文化財や鬼無里自然園などの案内をボランティアで行っている。</p> <p>既存の団体とともに文化財周辺や地域において新たな保存団体や愛護団体等の設立の動きがある場合には、その設立や活動の支援をし、必要に応じて市の「ながのまちづくり活動支援事業補助金」などを活用した財政的な支援を検討する。</p> <p>また、鬼無里地区住民自治協議会のもとで、まちづくり協議会の設立の動きがある。設立後は地域コミュニティの中核として、活動への助成や組織活動の維持、団体の育成等について市が主体的に関わっていく。</p>

■新旧対照表(No.25)

新 (251ページ)


旧 (251ページ)







事業総括図 (鬼無里地区) S=1/50,000

事業総括図 (鬼無里地区) S=1/50,000

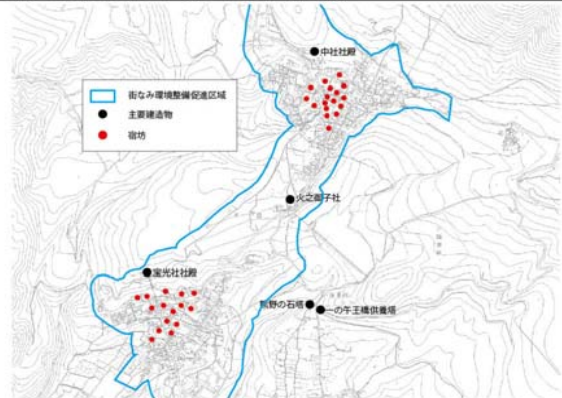
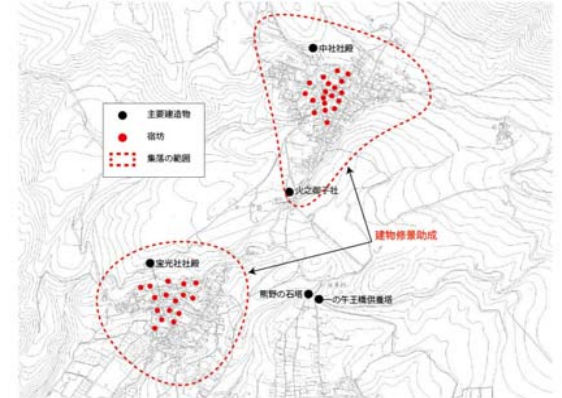


■新旧対照表(No.26)

新 (253ページ)		旧
重点区域名称	善光寺・戸隠地区、松代・若穂川田地区、鬼無里地区	<p>【 新規事業として追加 】</p>
事業番号	N 2	
事業名	歴史的資源活用コーディネーター派遣事業	
事業主体	長野市	
事業期間	平成 26 年度～平成 34 年度	
支援事業名	市単独事業	
事業箇所	重点区域全城	
事業概要	<p>住民主体のまちづくりを支援するため、歴史的町並みを活かした良好な町並み形成を目指す住民組織等に対して、外部の専門家や有識者を派遣するもの</p>  <p>歴史的建造物の修理について専門家の意見を聞く様子</p>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>歴史的資産である歴史的町並みについて、外部の専門家から具体的な説明を受けることで、地域住民の歴史や文化に対する認識が高まるとともに、住民の合意形成がさらに進み、良好な歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>	

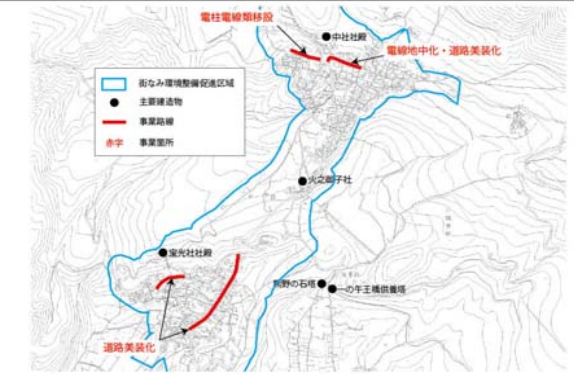





■新旧対照表(No.27)

新 (257ページ)		旧 (257ページ)	
重点区域名称	善光寺・戸隠地区	重点区域名称	善光寺・戸隠地区
事業番号	ZT 4	事業番号	ZT 4
事業名	中央通り歩行者優先道路化事業	事業名	中央通り歩行者優先道路化事業
事業主体	長野市	事業主体	長野市
事業期間	平成 22 年度～平成 26 年度	事業期間	平成 22 年度～平成 25 年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)	支援事業名	社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)
事業箇所			
事業概要	<p>弥栄神社の御祭礼で屋台巡行のメイン通りとなる中央通り (善光寺表参道) について、屋台巡行における景観の質を向上させるとともに、通常時においても、周辺の歴史的建造物と一体となった沿道空間を確保するため、善光寺の参道の雰囲気に合わせて石畳舗装を行い、さらに歩道の拡幅を行うことで道路空間の魅力向上と機能充実を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">整備が完了した部分 平成 25 年度に整備する部分</p>	<p>弥栄神社の御祭礼で屋台巡行のメイン通りとなる中央通り (善光寺表参道) について、屋台巡行における景観の質を向上させるとともに、通常時においても、周辺の歴史的建造物と一体となった沿道空間を確保するため、善光寺の参道の雰囲気に合わせて石畳舗装を行い、さらに歩道の拡幅を行うことで道路空間の魅力向上と機能充実を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">整備が完了した部分 平成 25 年度に整備する部分</p>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>善光寺の表参道である中央通りには、門前の賑わいを支えた店舗等、歴史的建造物が現在も数多く残るものの、道路幅に比べて歩道幅が狭く、沿道の歴史的建造物を散策するには不十分な状況であった。本事業によって、以前よりも歩行者空間が確保されるとともに、周辺の歴史的建造物と一体となった良好な景観形成の促進が図られ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	<p>善光寺の表参道である中央通りには、門前の賑わいを支えた店舗等、歴史的建造物が現在も数多く残るものの、道路幅に比べて歩道幅が狭く、沿道の歴史的建造物を散策するには不十分な状況であった。本事業によって、以前よりも歩行者空間が確保されるとともに、周辺の歴史的建造物と一体となった良好な景観形成の促進が図られ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	




■新旧対照表(No.28)

新 (261ページ)		旧 (261ページ)	
重点区域名称	善光寺・戸隠地区	重点区域名称	善光寺・戸隠地区
事業番号	ZT 8	事業番号	ZT 8
事業名	戸隠地域建物修景助成事業	事業名	戸隠地域建物修景助成事業
事業主体	長野市	事業主体	長野市
事業期間	平成 29 年度～平成 34 年度	事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）	支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
事業箇所			
事業概要	<p>中社・宝光社地区における宿坊や民家の所有者が、歴史的建造物の特性を活かした街づくり協定を締結した上で建物修景を行う場合に、経費の一部について補助を行う。</p>  <p>宿坊の例</p>	<p>中社・宝光社地区における宿坊や民家の所有者が、歴史的建造物の特性を活かした街づくり協定を締結した上で建物修景等を行う場合に、経費の一部について補助を行う。</p>  <p>宿坊の例</p>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>戸隠中社・宝光社門前の特徴的な歴史的建造物を修理修景することにより、統一感あるまちなみを維持することができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	<p>戸隠中社・宝光社門前の特徴的な歴史的建造物を修景することにより、統一感あるまちなみを維持することができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	

■新旧対照表(No.29)

新 (262ページ)		旧 (262ページ)	
重点区域名称	善光寺・戸隠地区	重点区域名称	善光寺・戸隠地区
事業番号	ZT 9	事業番号	ZT 9
事業名	戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業	事業名	戸隠地域道路美装化・電柱電線類移設・歩道整備事業
事業主体	長野県及び長野市	事業主体	長野県及び長野市
事業期間	平成 30 年度～平成 34 年度	事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金 (街なみ環境整備事業)	支援事業名	社会資本整備総合交付金 (街なみ環境整備事業)
事業箇所			
事業概要	<p>戸隠中社・宝光社地区門前の歴史的まちなみが広がる一部の路線について、道路美装化、電柱電線類移設、歩道整備等を実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 大門通り (中社) 大門通り (宝光社) </p>	<p>戸隠中社・宝光社地区門前の歴史的まちなみが広がる一部の路線について、道路美装化、電柱電線類移設、歩道整備等を実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 大門通り (中社) 大門通り (宝光社) </p>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>景観を阻害する電柱電線類を移設ないし地中化することによって、中社及び宝光社門前に広がる宿坊や民家の歴史的建造物の眺望景観が向上するとともに、周囲の歴史的建造物に調和した道路に美装化することで、歴史的建造物と道路が一体となった景観形成が図られ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	<p>景観を阻害する電柱電線類を移設ないし地中化することによって、中社及び宝光社門前に広がる宿坊や民家の歴史的建造物の眺望景観が向上するとともに、周囲の歴史的建造物に調和した道路に美装化することで、歴史的建造物と道路が一体となった景観形成が図られ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	

■新旧対照表(No.30)


新 (263ページ)		旧 (263ページ)	
重点区域名称	善光寺・戸隠地区	重点区域名称	善光寺・戸隠地区
事業番号	ZT 10	事業番号	ZT 10
事業名	景観重要建造物修理助成事業 (戸隠地域)	事業名	景観重要建造物修理助成事業 (戸隠地域)
事業主体	長野市	事業主体	長野市
事業期間	平成 26 年度～平成 30 年度	事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金 (街なみ環境整備事業)	支援事業名	社会資本整備総合交付金 (街なみ環境整備事業)
事業箇所			
事業概要	<p>景観重要建造物に指定された宿坊極意(中社)と越志旅館(宝光社)について、建造物の外観の修繕及び外観の修繕に伴う構造部の修繕に要する経費の一部について助成を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 宿坊極意 越志旅館 </p>	<p>景観重要建造物に指定された宿坊極意(中社)と越志旅館(宝光社)について、建造物の外観の修繕及び外観の修繕に伴う構造部の修繕に要する経費の一部について助成を行う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 宿坊極意 越志旅館 </p>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>地域の景観の核となる建物の外観修景を通じて、周囲の景観の向上と、歴史的建造物に対する地域の啓発が図れ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由。</p>	<p>地域の景観の核となる建物の外観修景を通じて、周囲の景観の向上と、歴史的建造物に対する地域の啓発が図れ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由。</p>	

■新旧対照表(No.31)

新 (264ページ)

重点区域名称	善光寺・戸隠地区
事業番号	ZT11
事業名	弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業
事業主体	長野市
事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度
支援事業名	市単独事業
事業箇所	善光寺周辺地域
事業概要	<p>弥栄神社の御祭礼をはじめ、重点区域における伝統的な祭礼等に対して支援を行う。なお、弥栄神社の御祭礼においては、曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。</p>  <p>善光寺三門での答礼の様子（権堂町の勢獅子と屋台）</p>
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>当該事業は、伝統的な祭礼の実施を促進するとともに、その祭礼に関わる歴史や文化を再認識する機会にも繋がる。とりわけ、弥栄神社の御祭礼では、善光寺門前の各町から曳き出される屋台が、この祭りを最大に盛り上げており、当該事業によって巡行屋台が一定数確保されることで、祭りが華やかに彩られることになり、かつて、日本三大祇園祭に数えられた祭礼の伝統と格式が保たれ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>

旧 (253ページ)

重点区域名称	善光寺・戸隠地区、松代・若徳川田地区、鬼無里地区
事業番号	N 2
事業名	弥栄神社の御祭礼等支援事業
事業主体	長野市
事業期間	平成 25 年度～平成 27 年度
支援事業名	市単独事業
事業箇所	重点区域全域
事業概要	<p>弥栄神社の御祭礼をはじめ、重点区域における伝統的な祭礼等に対して支援を行う。なお、弥栄神社の御祭礼においては、曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。</p>  <p>善光寺三門での答礼の様子（権堂町の勢獅子と屋台）</p>
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>当該事業は、伝統的な祭礼の実施を促進するとともに、その祭礼に関わる歴史や文化を再認識する機会にも繋がる。とりわけ、弥栄神社の御祭礼では、善光寺門前の各町から曳き出される屋台が、この祭りを最大に盛り上げており、当該事業によって巡行屋台が一定数確保されることで、祭りが華やかに彩られることになり、かつて、日本三大祇園祭に数えられた祭礼の伝統と格式が保たれ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>



■新旧対照表(No.32)

新 (265ページ)		旧
重点区域名称	善光寺・戸隠地区	
事業番号	ZT 12	
事業名	善光寺本堂耐震補強事業	
事業主体	宗教法人善光寺	
事業期間	平成 26 年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	
事業箇所		
事業概要	<p>平成 22 年度及び平成 23 年度に実施した国宝善光寺本堂の耐震診断では、本堂に対して行うべき耐震補強を、短期的視点からの耐震性能向上と、本堂の大規模な修繕工事にあわせて行う長期的視点からの耐震性能向上にわけて提案がなされた。本事業は、前者の短期耐震補強工事であり、参拝者に対する安全確保を目的に、天井吊補強工事をはじめとした天井部分の落下防止対策の補強工事を実施する。</p>  <p>善光寺本堂</p>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>善光寺本堂は、善光寺周辺の歴史的風致を形成している善光寺御開帳において、最も欠くことのできない歴史的建造物であり、耐震補強によって参拝者に対する安全確保が図られることによって、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	
		【 新規事業として追加 】

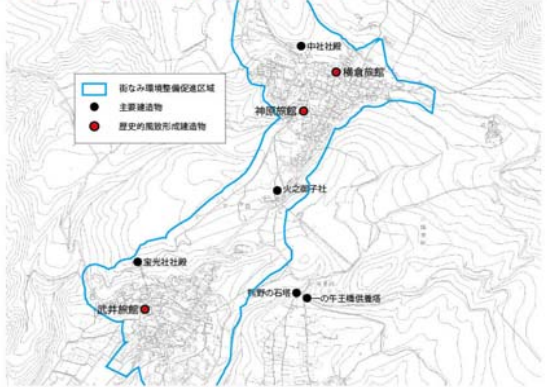

■新旧対照表(No.33)

新 (266ページ)		旧
重点区域名称	善光寺・戸隠地区	
事業番号	ZT 13	
事業名	戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業	
事業主体	長野市	
事業期間	平成 26 年度～平成 28 年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金	
事業箇所	 <p>The map shows the survey area (調査範囲) in red, covering the main buildings (主要建造物) in the Tsurugasaki and Utsunomiya regions. Key locations marked include Nakamura Shrine (中社社殿), Utsunomiya Shrine (宝光社社殿), and the Utsunomiya Stone Pagoda (戸隠の石塔).</p>	
事業概要	<p>戸隠中社・宝光社地区の伝統的建造物群保存地区の指定に向けて、地域の伝統的な宿坊建築を中心に保存対策調査を実施する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>中社</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>宝光社</p> </div> </div>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>伝統的建造物群保存対策調査により、戸隠中社・宝光社地区における歴史的町並みの価値が明らかになるとともに、伝統的建造物群保存地区の指定とその保護に向けて必要な情報を得ることができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	<p>【 新規事業として追加 】</p>

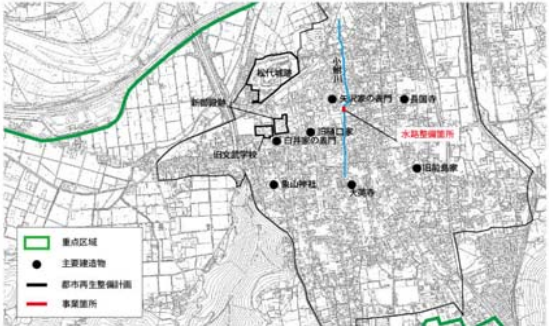
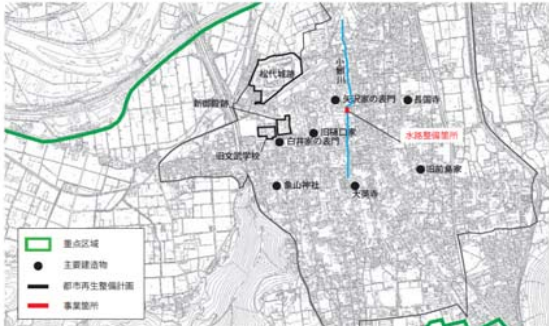




■新旧対照表(No.34)

新 (267ページ)		旧
重点区域名称	善光寺・戸隠地区	
事業番号	ZT 14	
事業名	戸隠茅場整備事業	
事業主体	戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会	
事業期間	平成26年度～平成34年度	
支援事業名		
事業箇所		
事業概要	<p>戸隠中社・宝光社地区の歴史的町並みを構成する茅葺き屋根の建物を、今後も適切に維持保全していくため、中社地区内にある戸隠スキー場中社ゲレンデを茅場として整備する。なお、このゲレンデの一面には、すでに茅材に適した大茅が自生していることから、毎年、定期的に茅刈を行うことにより、良質な茅場として整備できることが十分に見込める。</p>  <p>戸隠スキー場中社ゲレンデを北から南へ見下ろす。</p>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>茅場の整備によって、近年、材料の確保が難しくなっている茅材を地区内で一定量確保することができ、戸隠中社・宝光社地区内の茅葺き屋根の建物について保全が進み、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	
		【 新規事業として追加 】




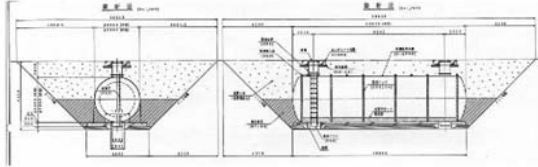

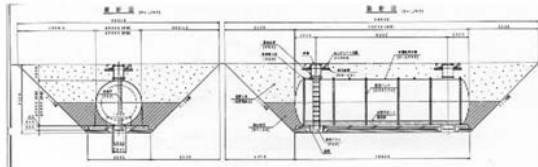
■新旧対照表(No.35)

新 (268ページ)		旧
重点区域名称	善光寺・戸隠地区	
事業番号	ZT 15	
事業名	歴史的風致形成建造物整備事業	
事業主体	長野市	
事業期間	平成 26 年度～平成 34 年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金 (街なみ環境整備事業)	
事業箇所		
事業概要	<p>戸隠の歴史的風致を形成する重要な歴史的建造物のうち、主要な通りに面し、かつ、現在も茅葺屋根を維持し続けている建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理を行う場合に経費の一部について補助を行う。</p>  <p>歴史的風致形成建造物 (横倉旅館)</p>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>戸隠中社・宝光社門前の特徴的な歴史的建造物を修理することにより、統一感あるまちなみを維持することができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	<p>【 新規事業として追加 】</p>

■新旧対照表(No.36)

新 (271ページ)		旧 (266ページ)	
重点区域名称	松代・若穂川田地区	重点区域名称	松代・若穂川田地区
事業番号	MK3	事業番号	MK3
事業名	小鮎川改修事業	事業名	小鮎川改修事業
事業主体	長野市	事業主体	長野市
事業期間	平成 22 年度～平成 25 年度	事業期間	平成 22 年度～平成 26 年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）	支援事業名	社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
事業箇所			
事業概要	<p>江戸時代後期には、城下を縦断する主要な河川の一つであった小鮎川は、以前、松代特有の水路である泉水路についても、ここから取水が行われており、今も往時の面影を残した川筋が松代の歴史的まちなみの中を流れている。旧松代藩鐘楼前の区間について、こうした小鮎川の歴史を後世に伝えるため、周囲の歴史的建造物に調和した水路として改修する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備が完了した区間</p> </div> </div>	<p>江戸時代後期には、城下を縦断する主要な河川の一つであった小鮎川は、以前、松代特有の水路である泉水路についても、ここから取水が行われており、今も往時の面影を残した川筋が松代の歴史的まちなみの中を流れている。旧松代藩鐘楼前の区間について、こうした小鮎川の歴史を後世に伝えるため、周囲の歴史的建造物に調和した水路として改修する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備が完了した区間</p> </div> </div>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>泉水路の歴史を伝える河川の一つを、周辺景観に合わせて整備することで、泉水路の歴史に対する市民意識の向上が図られ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	<p>泉水路の歴史を伝える河川の一つを、周辺景観に合わせて整備することで、泉水路の歴史に対する市民意識の向上が図られ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	

■新旧対照表(No.37)



新 (278ページ)		旧 (273ページ)	
重点区域名称	松代・若穂川田地区	重点区域名称	松代・若穂川田地区
事業番号	MK10	事業番号	MK10
事業名	耐震性貯水槽整備事業	事業名	耐震性貯水槽整備事業
事業主体	長野市	事業主体	長野市
事業期間	平成28年度～平成34年度	事業期間	平成26年度
支援事業名	市単独事業	支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
事業箇所			
事業概要	<p>松代駅周辺の防災対策として、耐震性貯水槽(防火水槽)を設置する。</p>  <p>耐震性貯水槽のイメージ</p> 	<p>松代駅周辺の防災対策として、耐震性貯水槽(防火水槽)を設置する。</p>  <p>耐震性貯水槽のイメージ</p> 	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>松代駅周辺は、松代城跡、新御殿跡をはじめ、とりわけ多くの文化財が集積している。本事業によって、消防水利を整備して防災体制を強化することで、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	<p>松代駅周辺は、松代城跡、新御殿跡をはじめ、とりわけ多くの文化財が集積している。本事業によって、消防水利を整備して防災体制を強化することで、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	

■新旧対照表(No.38)

新 (279ページ)

旧 (274ページ)


重点区域名称	松代・若穂川田地区
事業番号	MK11
事業名	旧松代駅舎保存活用事業
事業主体	長野市
事業期間	平成 25 年度～平成 28 年度
支援事業名	市単独事業
事業箇所	
事業概要	<p>大正 11 年（1922）建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を行う。</p>  <p>現在の松代駅舎</p>
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	松代地域の玄関口として活用されてきた松代駅の歴史を踏まえ、地域の歴史的建造物の一つである駅舎を、松代地域に不足している来訪者への案内拠点として再整備することで、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

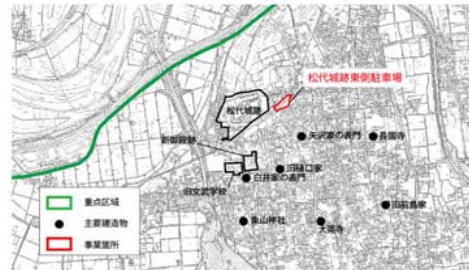

重点区域名称	松代・若穂川田地区
事業番号	MK11
事業名	旧松代駅舎保存活用事業
事業主体	長野市
事業期間	平成 25 年度
支援事業名	市単独事業
事業箇所	
事業概要	<p>大正 11 年（1922）建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を行う。</p>  <p>現在の松代駅舎</p>
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	松代地域の玄関口として活用されてきた松代駅の歴史を踏まえ、地域の歴史的建造物の一つである駅舎を、松代地域に不足している来訪者への案内拠点として再整備することで、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

■新旧対照表(No.39)

新 (280ページ)

旧 (275ページ)

重点区域名称	松代・若穂川田地区
事業番号	MK12
事業名	松代城跡東側駐車場整備事業
事業主体	長野市
事業期間	平成 25 年度～平成 28 年度
支援事業名	市単独事業
事業箇所	
事業概要	<p>松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。</p>  <p>アクセス駐車場予定地</p>
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>旧長野電鉄屋代線松代駅周辺は、松代の中心市街地であるとともに、史跡松代城跡、史跡新御殿跡、史跡旧文武学校をはじめ、数多くの文化財が集積する地域で、松代地域の観光拠点でもある。長野電鉄屋代線が廃線となり、これまで以上に自動車を利用した来訪者の増加が懸念されることから、本事業によって、これら史跡等の東側に駐車場を整備することで、中心市街地への自動車流入を一定量抑えることができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>

重点区域名称	松代・若穂川田地区
事業番号	MK12
事業名	松代城跡東側駐車場整備事業
事業主体	長野市
事業期間	平成 25 年度
支援事業名	市単独事業
事業箇所	
事業概要	<p>松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。</p>  <p>アクセス駐車場予定地</p>
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>旧長野電鉄屋代線松代駅周辺は、松代の中心市街地であるとともに、史跡松代城跡、史跡新御殿跡、史跡旧文武学校をはじめ、数多くの文化財が集積する地域で、松代地域の観光拠点でもある。長野電鉄屋代線が廃線となり、これまで以上に自動車を利用した来訪者の増加が懸念されることから、本事業によって、これら史跡等の東側に駐車場を整備することで、中心市街地への自動車流入を一定量抑えることができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>

■新旧対照表(No.40)

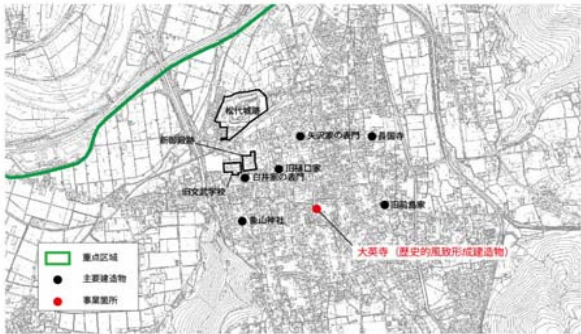

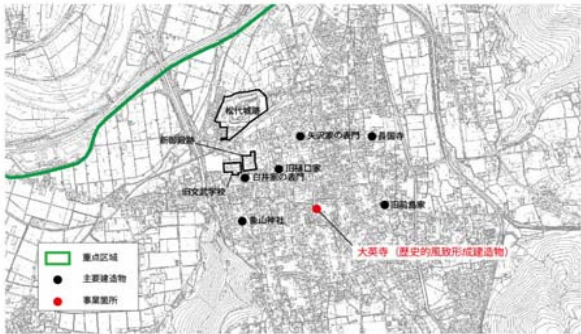

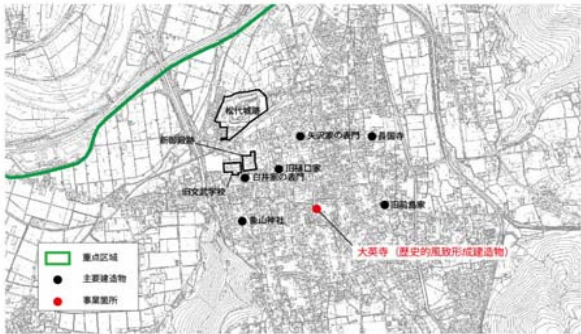

新 (281ページ)

旧 (276ページ)

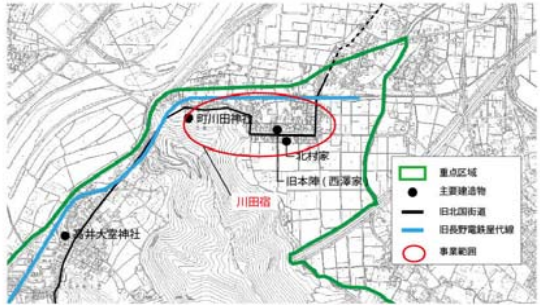

重点区域名称	松代・若穂川田地区
事業番号	MK13
事業名	北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業
事業主体	長野市
事業期間	平成 25 年度～平成 29 年度
支援事業名	市単独事業
事業箇所	松代・若穂川田地区全域
事業概要	<p>北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成 24 年 (2012) 3 月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷きを活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。</p>  <p style="text-align: center;">旧長野電鉄屋代線</p>
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>城下町として発展してきた松代と、北国街道松代道の宿場町である川田宿は、江戸時代から続く歴史的まちなみが広がっているとともに、大正 11 年 (1922) に開業した須坂・屋代間の鉄道敷きが平行して延びており、江戸時代以降の歴史の上に、約 90 年に及ぶ近代の歴史が積み重なっている。本事業によって、この鉄道敷きが自動車交通から切り離された道として利活用されることで、市民や来訪者に対する安全性が確保されるとともに、周囲の歴史的建造物をゆったりと巡ることができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>

重点区域名称	松代・若穂川田地区
事業番号	MK13
事業名	北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業
事業主体	長野市
事業期間	平成 25 年度～平成 28 年度
支援事業名	市単独事業
事業箇所	松代・若穂川田地区全域
事業概要	<p>北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成 24 年 (2012) 3 月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷きを活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。</p>  <p style="text-align: center;">旧長野電鉄屋代線</p>
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>城下町として発展してきた松代と、北国街道松代道の宿場町である川田宿は、江戸時代から続く歴史的まちなみが広がっているとともに、大正 11 年 (1922) に開業した須坂・屋代間の鉄道敷きが平行して延びており、江戸時代以降の歴史の上に、約 90 年に及ぶ近代の歴史が積み重なっている。本事業によって、この鉄道敷きが自動車交通から切り離された道として利活用されることで、市民や来訪者に対する安全性が確保されるとともに、周囲の歴史的建造物をゆったりと巡ることができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>

■新旧対照表(No.41)

新 (287ページ)	旧																		
<table border="1"> <tr> <td>重点区域名称</td> <td>松代・若穂川田地区</td> </tr> <tr> <td>事業番号</td> <td>MK19</td> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>県宝大英寺本堂保存修理事業</td> </tr> <tr> <td>事業主体</td> <td>宗教法人大英寺</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成 26 年度～平成 30 年度</td> </tr> <tr> <td>支援事業名</td> <td>県補助金、社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）</td> </tr> <tr> <td>事業箇所</td> <td>  </td> </tr> <tr> <td>事業概要</td> <td> <p>松代の歴史的風致を形成する県宝大英寺本堂および表門について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。</p>  <p>大英寺本堂</p> </td> </tr> <tr> <td>事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由</td> <td> <p>松代城下町の貴重な歴史的建造物について保存修理工事を行うことにより、地域の核として良好な景観形成が図られるとともに、市民や来訪者が歴史的建造物に対して関心や理解を高めることができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p> </td> </tr> </table>	重点区域名称	松代・若穂川田地区	事業番号	MK19	事業名	県宝大英寺本堂保存修理事業	事業主体	宗教法人大英寺	事業期間	平成 26 年度～平成 30 年度	支援事業名	県補助金、社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）	事業箇所		事業概要	<p>松代の歴史的風致を形成する県宝大英寺本堂および表門について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。</p>  <p>大英寺本堂</p>	事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>松代城下町の貴重な歴史的建造物について保存修理工事を行うことにより、地域の核として良好な景観形成が図られるとともに、市民や来訪者が歴史的建造物に対して関心や理解を高めることができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	<p style="text-align: center;">【 新規事業として追加 】</p>
重点区域名称	松代・若穂川田地区																		
事業番号	MK19																		
事業名	県宝大英寺本堂保存修理事業																		
事業主体	宗教法人大英寺																		
事業期間	平成 26 年度～平成 30 年度																		
支援事業名	県補助金、社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）																		
事業箇所																			
事業概要	<p>松代の歴史的風致を形成する県宝大英寺本堂および表門について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。</p>  <p>大英寺本堂</p>																		
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>松代城下町の貴重な歴史的建造物について保存修理工事を行うことにより、地域の核として良好な景観形成が図られるとともに、市民や来訪者が歴史的建造物に対して関心や理解を高めることができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>																		

■新旧対照表(No.42)

新 (288ページ)		旧
重点区域名称	松代・若穂川田地区	
事業番号	MK20	
事業名	川田宿 PR 活用事業	
事業主体	川田宿ガイドの会	
事業期間	平成 26 年度～平成 34 年度	
支援事業名	市単独事業	
事業箇所		
事業概要	<p>川田宿の歴史的町並みや伝統文化を川田宿を訪れる観光客に対して広く PR するため、長野市歴史的風致維持向上計画の認定に伴い設立された川田宿ガイドの会が主体となり、案内ガイドの実施や町歩きガイドマップの作成を行う。</p>  <p>案内ガイドの様子（秋葉社（下組））</p>	
事業が歴史的風致の維持及び向上に寄与する理由	<p>地域住民主体による、歴史的町並みや伝統文化の情報発信を実施することで、市民や来訪者に対する歴史や文化の周知がきめ細やかに実施することができ、歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>	
		【 新規事業として追加 】

■新旧対照表(No.43)

新 (298ページ)						旧
<p>(4) 歴史的風致形成建造物一覧</p> <p>歴史的建造物として指定した建造物は次のとおりである。</p>						
種別	名称 (区分：建築時) 【所在地】	写真	建築年 構造	所有者	その他	
県指定	大英寺本堂 (寺院) 【松代町松代】		寛永元年 (1624) 木造	大英寺	第1号	
市指定	松巖寺観音堂 (寺院) 【鬼無里】		寛永2年 (1625) 又は 寛永3年 (1626) 木造	松巖寺	第2号	
未指定	神原旅館 (住宅) 【戸隠】		明治33年 (1900) 木造	神原博文	第3号	
未指定	武井旅館 (住宅) 【戸隠】		延享2年 (1745) 木造	武井旅館	第4号	
未指定	横倉旅館 (住宅) 【戸隠】		明治4年 (1871) ～ 明治6年 (1873) 木造	横倉英起	第5号	
						【 新規追加 】

■新旧対照表(No.44)

新 (299ページ)

(5) 歴史的風致形成建造物の候補

指定基準や対象等を踏まえ、歴史的風致形成建造物の指定が考えられる建造物の現時点における候補を、次にリストアップする。

種別	名称 (区分：建築時) 【所在地】	写真	建築年 構造	所有者	その他
未指定	原山家住宅 旧主屋 (住宅) 【戸隠宝光社】		明治時代初期 以前 木造	個人	○調査履歴：戸隠地区街なみ環境整備事業基礎調査

旧 (290ページ)

(4) 歴史的風致形成建造物の候補

指定基準や対象等を踏まえ、歴史的風致形成建造物の指定が考えられる建造物の現時点における候補を、次にリストアップする。

種別	名称 (区分：建築時) 【所在地】	写真	建築年 構造	所有者	その他
県宝	大英寺 (寺院) 【松代町松代】		寛永元年 (1624) 木造	大英寺	
未指定	原山家住宅 旧主屋 (住宅) 【戸隠宝光社】		明治時代初期 以前 木造	個人	○調査履歴：戸隠地区街なみ環境整備事業基礎調査

■新旧対照表(No.45)

新 (303ページ)

旧 (293ページ)

◎国指定等文化財

区分	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日		
国宝	建造物	1	善光寺本堂附厨子1基	善光寺	元善町	昭和28年3月31日		
重要文化財	建造物	2	葛山落合神社本殿附棟札1枚	葛山落合神社	入山	昭和11年9月18日		
		3	善光寺三門	善光寺	元善町	昭和40年5月29日		
		4	善光寺経蔵	善光寺	元善町	昭和40年5月29日		
		5	真田信重重屋 附前机1脚 釣燈籠2個	西楽寺	松代町西条	昭和46年6月22日		
		6	真田信之重屋(宝殿・表門)	長国寺	松代町松代	昭和51年5月20日		
		7	旧横田家住宅主屋・表門・隠居屋・土蔵2棟	長野市	松代町松代	昭和61年1月22日		
		8	白髻神社本殿	白髻神社	鬼無里日影	昭和34年6月27日		
		9	絹本着色阿彌陀如来坐像	清水寺	若穂跡内(北野美術館)	大正4年3月26日		
		10	絹本着色阿彌陀如来坐像	大本願	元善町	平成25年6月19日		
彫刻		11	金銅阿彌陀如来及び両脇侍立像	善光寺	元善町	明治39年4月14日		
		12	銅造釈迦涅槃像	世尊院	元善町	明治39年4月14日		
		13	木造阿彌陀如来坐像	蓮台寺	若穂跡内	大正3年8月25日		
		14	木造聖観音菩薩坐像	瀬脇観音保存会	七二会己瀬脇	大正3年8月25日		
		15	木造伝子安菩薩坐像	蓮香寺、三宝寺	篠ノ井山布施村山	大正4年3月26日		
		16	木造聖観音菩薩立像	清水寺	若穂保科	大正12年8月4日		
		17	木造千手観音及び脇侍地藏菩薩像	清水寺	若穂保科	大正12年8月4日		
		18	木造阿彌陀如来立像	清水寺	若穂保科	大正12年8月4日		
		19	木造薬師如来坐像	清水寺	若穂保科	大正12年8月4日		
		20	銅造観音菩薩立像	個人	若槻吉字山千寺	昭和12年5月25日		
		21	木造広目天像・多聞天像	清水寺	若穂保科	昭和12年8月25日		
		22	木造十一面観音菩薩立像	観音寺	信更町下平	昭和12年8月25日		
		23	木造千手観音菩薩立像	清水寺	松代町西条	昭和12年8月25日		
		24	木造観音菩薩立像	清水寺	松代町西条	昭和12年8月25日		
		25	木造地藏菩薩立像	清水寺	松代町西条	昭和12年8月25日		
		工芸品		26	鉄鍔形	清水寺	若穂保科	大正3年8月25日
				27	大太刀(青江) 銘備中国住人口口延文六年二月日	長野市	真田宝物館	昭和36年2月7日
				28	牙笏	戸隠神社	戸隠神社中社	昭和41年3月26日
		書跡		29	太刀 紋真守	永和堂	南長野	平成25年3月25日
30	紙本墨書源氏物語事書			大勳進	元善町	昭和9年1月30日		
31	紙本墨書法華経残圖			戸隠神社	戸隠神社中社	昭和9年1月30日		
歴史資料		32	善光寺造営図 享祿四年四月	大勳進	元善町	昭和63年6月6日		
		33	旧文武学校	長野市	松代町松代	昭和28年3月31日		
		34	川柳将軍塚古墳、姫塚古墳	湯ノ入神社ほか	篠ノ井石川	昭和52年7月14日		
		35	松代城跡附新御殿跡	長野市	松代町松代	昭和56年4月11日		
		36	松代藩主真田家墓所	長国寺	松代町松代	昭和62年12月25日		
		37	大室古墳群	長野市他	松代町大室	平成9年7月28日		
		38	埴科古墳群 土口将軍塚古墳	個人	松代町岩野	平成19年2月17日		
		39	素戔神社の神代ザクラ	素戔神社	泉平	昭和10年12月24日		
		天然記念物		40	高岡の小豆焼き行事	保科高岡区	若穂保科高岡区	平成8年11月28日
					記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財			

重要美術品	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日
重要美術品	絵画	1	絹本着色中壽老左右鷲鷲図	北野美術館	若穂跡内	昭和10年12月13日
		2	圓山應舉筆	個人	西尾張部	昭和23年4月27日
	工芸品	3	玉結弁	大勳進	元善町	昭和18年10月1日
		4	銅鑪	善光寺	元善町	昭和18年10月1日
		5	銅鑪	善光寺	元善町	昭和20年8月3日
		6	紙本墨書和漢朗詠集上巻 断簡(伊豫切)(十五夜)	北野美術館	若穂跡内	昭和11年9月12日

◎国指定等文化財

区分	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日		
国宝	建造物	1	善光寺本堂附厨子1基	善光寺	元善町	昭和28年3月31日		
重要文化財	建造物	2	葛山落合神社本殿附棟札1枚	葛山落合神社	入山	昭和11年9月18日		
		3	善光寺三門	善光寺	元善町	昭和40年5月29日		
		4	善光寺経蔵	善光寺	元善町	昭和40年5月29日		
		5	真田信重重屋 附前机1脚 釣燈籠2個	西楽寺	松代町西条	昭和46年6月22日		
		6	真田信之重屋(宝殿・表門)	長国寺	松代町松代	昭和51年5月20日		
		7	旧横田家住宅主屋・表門・隠居屋・土蔵2棟	長野市	松代町松代	昭和61年1月22日		
		8	白髻神社本殿	白髻神社	鬼無里日影	昭和34年6月27日		
		9	絹本着色阿彌陀如来坐像	清水寺	若穂跡内(北野美術館)	大正4年3月26日		
		10	金銅阿彌陀如来及び両脇侍立像	善光寺	元善町	明治39年4月14日		
彫刻		11	銅造釈迦涅槃像	世尊院	元善町	明治39年4月14日		
		12	木造阿彌陀如来坐像	蓮台寺	若穂跡内	大正3年8月25日		
		13	木造聖観音菩薩立像	瀬脇観音保存会	七二会己瀬脇	大正3年8月25日		
		14	木造伝子安菩薩坐像	蓮香寺、三宝寺	篠ノ井山布施村山	大正4年3月26日		
		15	木造聖観音菩薩立像	清水寺	若穂保科	大正12年8月4日		
		16	木造千手観音及び脇侍地藏菩薩像	清水寺	若穂保科	大正12年8月4日		
		17	木造阿彌陀如来立像	清水寺	若穂保科	大正12年8月4日		
		18	木造薬師如来坐像	清水寺	若穂保科	大正12年8月4日		
		19	銅造観音菩薩立像	個人	若槻吉字山千寺	昭和12年5月25日		
		20	木造広目天像・多聞天像	清水寺	若穂保科	昭和12年8月25日		
		21	木造十一面観音菩薩立像	観音寺	信更町下平	昭和12年8月25日		
		22	木造千手観音菩薩立像	清水寺	松代町西条	昭和12年8月25日		
		23	木造観音菩薩立像	清水寺	松代町西条	昭和12年8月25日		
		24	木造地藏菩薩立像	清水寺	松代町西条	昭和12年8月25日		
		工芸品		25	鉄鍔形	清水寺	若穂保科	大正3年8月25日
				26	大太刀(青江) 銘備中国住人口口延文六年二月日	長野市	真田宝物館	昭和36年2月7日
				27	牙笏	戸隠神社	戸隠神社中社	昭和41年3月26日
		書跡		28	紙本墨書源氏物語事書	大勳進	元善町	昭和9年1月30日
				29	紙本墨書法華経残圖	戸隠神社	戸隠神社中社	昭和9年1月30日
30	善光寺造営図 享祿四年四月			大勳進	元善町	昭和63年6月6日		
歴史資料		31	旧文武学校	長野市	松代町松代	昭和28年3月31日		
		32	川柳将軍塚古墳、姫塚古墳	湯ノ入神社ほか	篠ノ井石川	昭和52年7月14日		
		33	松代城跡附新御殿跡	長野市	松代町松代	昭和56年4月11日		
		34	松代藩主真田家墓所	長国寺	松代町松代	昭和62年12月25日		
		35	大室古墳群	長野市他	松代町大室	平成9年7月28日		
		36	埴科古墳群 土口将軍塚古墳	個人	松代町岩野	平成19年2月17日		
		37	素戔神社の神代ザクラ	素戔神社	泉平	昭和10年12月24日		
天然記念物		38	高岡の小豆焼き行事	保科高岡区	若穂保科高岡区	平成8年11月28日		
			記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財					

重要美術品	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日
重要美術品	絵画	1	絹本着色中壽老左右鷲鷲図	北野美術館	若穂跡内	昭和10年12月13日
		2	圓山應舉筆	個人	西尾張部	昭和23年4月27日
	工芸品	3	玉結弁	大勳進	元善町	昭和18年10月1日
		4	銅鑪	善光寺	元善町	昭和18年10月1日
		5	銅鑪	善光寺	元善町	昭和20年8月3日
		6	紙本墨書和漢朗詠集上巻 断簡(伊豫切)(十五夜)	北野美術館	若穂跡内	昭和11年9月12日

■新旧対照表(No.46)

新 (304ページ)

◎県指定文化財

区分	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日
県宝	建造物	1	葛山落合神社境内諏訪社社殿	葛山落合神社	入山	昭和37年7月12日
		2	南方神社本殿	南方神社	戸隠山	昭和37年7月12日
		3	大英寺本堂および表門、附板絵著色三十六歌仙図36枚	大英寺	松代町松代	昭和41年10月3日
		4	林正寺本堂および表門	林正寺	松代町清野	昭和41年10月3日
		5	真田信弘霊屋および表門	個人	松代町松代	昭和41年10月3日
		6	長国寺開山堂	長国寺	松代町松代	昭和41年10月3日
		7	開善寺経藏附棟札1枚	開善寺	松代町西条	昭和41年10月3日
		8	旧長野県師範学校教師館	上ヶ屋麓原	北野建設株式会社	昭和46年12月20日
		9	旧ダニエル・ノルマン邸	上ヶ屋麓原	北野建設株式会社	昭和46年12月20日
		10	熊野出達権神本社殿	熊野出達権神社	松代町豊栄	平成6年8月15日
		11	旧前島家住宅主屋、附表門、土蔵、三社(棟札付)、庭園を含む宅地	長野市	松代町松代	平成18年4月20日
彫刻	絵画	12	絹本著色釈迦三尊像	大動進	元善町	平成7年9月21日
		13	木造伝観音菩薩立像	正覚院	安茂里	昭和34年11月9日
		14	木造金剛力士立像	長勝寺	信更町三水	昭和37年7月12日
	彫刻	15	木造薬師如来立像	清水寺	松代町西条	昭和44年10月2日
		16	木造観音立像	正法寺	中条日下野	平成21年10月22日
		17	木造四天王像	正法寺	中条日下野	平成21年10月22日
		18	短刀	信濃美術館	長野市	昭和41年2月24日
	工芸品	19	玉依比売命神社児玉石	玉依比売命神社	松代町東条	昭和44年10月2日
		20	銅製不動明王御正鉢	個人	戸隠宝光社	昭和44年10月2日
		21	短刀	個人	安茂里小市	昭和52年11月17日
		22	短刀 銘吉光	長野市	真田宝物館	平成3年2月14日
		23	刀 無銘(三原の太刀)	長野市	真田宝物館	平成3年2月14日
		24	太刀 銘窪田清音君山浦環源清廣製弘化丙午八月日	個人	小島田町	昭和40年1月14日
		25	真田家文書	長野市	真田宝物館	昭和47年4月27日
		26	戸隠山鎮光寺流記并序	戸隠神社	戸隠神社	平成7年2月16日
		27	伝川柳待軍塚古墳出土品	布制神社	市立博物館	昭和49年1月17日
		28	長谷及び越のドンダヤキ	長谷第3、越1・2・3・4常会	篠ノ井塩崎	平成7年2月16日
民俗文化財	無形民俗文化財	29	芦ノ尻の道祖神祭り	芦ノ尻組	大岡西	平成9年8月14日
		30	佐久間象山宅跡	長野市	松代町松代	昭和35年2月11日
		31	菅間王塚古墳	個人	松代町東条	昭和40年2月25日
		32	桑根井空塚	個人	松代町豊栄	昭和40年2月25日
		33	戸隠神社信仰遺跡	戸隠神社	戸隠中社・奥社・宝光社	昭和54年3月22日
		34	牧ノ島城跡	長野市ほか	信州新町牧野島	昭和41年3月31日
		35	奥穂花峡谷	国(国土交通省)	鬼無里奥穂花	平成2年2月19日
		36	真島のクワ	個人	真島町真島	昭和37年9月27日
		37	豊岡のカタワ	本願寺長野別院	戸隠豊岡	昭和37年2月12日
		38	新井のイチイ	新井・別府区	鬼無里新井	昭和37年7月12日
記念物	史跡	39	象山のカタワ	長野市	松代町西条	昭和43年3月21日
		40	戸隠神社奥社社叢	戸隠神社	戸隠神社	昭和48年3月12日
		41	塚本のビヤクシ	個人	若穂川田	昭和48年9月13日
		42	深谷沢の緑の巣状風化岩	鬼無里町区	鬼無里深谷沢	昭和62年8月17日
		43	大柳及び井上の枕状溶岩	個人	若穂川田	平成4年2月20日
		44	戸隠川下のシンジュウソウ化石	長野市	戸隠地質化石博物館	平成6年2月17日
		45	奥穂花自然園のつばき	長野市	鬼無里奥穂花	平成12年9月21日
		46	つづじ山のアカシデ	長野市	豊野町川谷	平成15年9月16日
		47	山穂刈のタジラ化石	長野市	信州新町化石博物館	昭和54年12月17日
		48	巖沢の絶滅セイチウ化石	長野市	信州新町化石博物館	平成19年1月11日
天然記念物	天然記念物	49	菅沼の絶滅セイチウ化石	長野市	信州新町化石博物館	平成19年1月11日
		50	大口沢のアシカ科化石	長野市	信州新町化石博物館	平成19年1月11日
		51	日下野のスキ	大内山神社	中条日下野	昭和37年7月12日

旧 (294ページ)

◎県指定文化財

区分	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日
県宝	建造物	1	葛山落合神社境内諏訪社社殿	葛山落合神社	入山	昭和37年7月12日
		2	南方神社本殿	南方神社	戸隠山	昭和37年7月12日
		3	大英寺本堂および表門、附板絵著色三十六歌仙図36枚	大英寺	松代町松代	昭和41年10月3日
		4	林正寺本堂および表門	林正寺	松代町清野	昭和41年10月3日
		5	真田信弘霊屋および表門	個人	松代町松代	昭和41年10月3日
		6	長国寺開山堂	長国寺	松代町松代	昭和41年10月3日
		7	開善寺経藏附棟札1枚	開善寺	松代町西条	昭和41年10月3日
		8	旧長野県師範学校教師館	北野建設株式会社	上ヶ屋麓原	昭和46年12月20日
		9	旧ダニエル・ノルマン邸	北野建設株式会社	上ヶ屋麓原	昭和46年12月20日
		10	熊野出達権神本社殿	熊野出達権神社	松代町豊栄	平成6年8月15日
		11	旧前島家住宅主屋、附表門、土蔵、三社(棟札付)、庭園を含む宅地	長野市	松代町松代	平成18年4月20日
彫刻	絵画	12	絹本著色釈迦三尊像	大動進	元善町	平成7年9月21日
		13	絹本著色阿彌陀聖衆來迎図	大本願	元善町	平成7年9月21日
		14	木造伝観音菩薩立像	正覚院	安茂里	昭和34年11月9日
	彫刻	15	木造金剛力士立像	長勝寺	信更町三水	昭和37年7月12日
		16	木造薬師如来立像	清水寺	松代町西条	昭和44年10月2日
		17	木造観音立像	正法寺	中条日下野	平成21年10月22日
		18	木造四天王像	正法寺	中条日下野	平成21年10月22日
	工芸品	19	短刀	信濃美術館	長野市	昭和41年2月24日
		20	玉依比売命神社児玉石	玉依比売命神社	松代町東条	昭和44年10月2日
		21	銅製不動明王御正鉢	個人	戸隠宝光社	昭和44年10月2日
		22	短刀	個人	安茂里小市	昭和52年11月17日
		23	短刀 銘吉光	長野市	真田宝物館	平成3年2月14日
		24	刀 無銘(三原の太刀)	長野市	真田宝物館	平成3年2月14日
		25	太刀 銘窪田清音君山浦環源清廣製弘化丙午八月日	個人	小島田町	昭和40年1月14日
		26	真田家文書	長野市	真田宝物館	昭和47年4月27日
		27	戸隠山鎮光寺流記并序	戸隠神社	戸隠神社	平成7年2月16日
		28	伝川柳待軍塚古墳出土品	布制神社	市立博物館	昭和49年1月17日
民俗文化財	無形民俗文化財	29	長谷及び越のドンダヤキ	長谷第3、越1・2・3・4常会	篠ノ井塩崎	平成7年2月16日
		30	芦ノ尻の道祖神祭り	芦ノ尻組	大岡西	平成9年8月14日
		31	佐久間象山宅跡	長野市	松代町松代	昭和35年2月11日
		32	菅間王塚古墳	個人	松代町東条	昭和40年2月25日
		33	桑根井空塚	個人	松代町豊栄	昭和40年2月25日
		34	戸隠神社信仰遺跡	戸隠神社	戸隠中社・奥社・宝光社	昭和54年3月22日
		35	牧ノ島城跡	長野市ほか	信州新町牧野島	昭和41年3月31日
		36	奥穂花峡谷	国(国土交通省)	鬼無里奥穂花	平成2年2月19日
		37	真島のクワ	個人	真島町真島	昭和37年9月27日
		38	豊岡のカタワ	本願寺長野別院	戸隠豊岡	昭和37年2月12日
記念物	史跡	39	新井のイチイ	新井・別府区	鬼無里新井	昭和37年7月12日
		40	象山のカタワ	長野市	松代町西条	昭和43年3月21日
		41	戸隠神社奥社社叢	戸隠神社	戸隠神社	昭和48年3月12日
		42	塚本のビヤクシ	個人	若穂川田	昭和48年9月13日
		43	深谷沢の緑の巣状風化岩	鬼無里町区	鬼無里深谷沢	昭和62年8月17日
		44	大柳及び井上の枕状溶岩	個人	若穂川田	平成4年2月20日
		45	戸隠川下のシンジュウソウ化石	長野市	戸隠地質化石博物館	平成6年2月17日
		46	奥穂花自然園のつばき	長野市	鬼無里奥穂花	平成12年9月21日
		47	つづじ山のアカシデ	長野市	豊野町川谷	平成15年9月16日
		48	山穂刈のタジラ化石	長野市	信州新町化石博物館	昭和54年12月17日
名勝	天然記念物	49	巖沢の絶滅セイチウ化石	長野市	信州新町化石博物館	平成19年1月11日
		50	菅沼の絶滅セイチウ化石	長野市	信州新町化石博物館	平成19年1月11日
		51	大口沢のアシカ科化石	長野市	信州新町化石博物館	平成19年1月11日
		52	日下野のスキ	大内山神社	中条日下野	昭和37年7月12日

■新旧対照表(No.47)

新 (309ページ)

旧 (299ページ)

区分	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日
記念物	天然記念物	241	皇足徳命神社の大杉	皇足徳命神社	富田向台	昭和47年3月1日
		242	稲田のエノキ	稲田区	稲田	昭和47年3月1日
		243	余玉軒車駒つなぎのイチイ	小野平区	山田中	昭和49年7月20日
		244	性乗寺稲荷社のイチイ	性乗寺	七二会丙	昭和53年3月25日
		245	矢沢家のヒムロ	個人	松代町松代	昭和53年3月25日
		246	葛山落合神社社叢	葛山落合神社	入山	昭和53年3月25日
		247	富竹のビヤクシン	個人	富竹	昭和55年6月2日
		248	サワラとヒヨクヒバのキメラ	個人	篠ノ井山布施	昭和55年6月2日
		249	古沢家のイチイ	個人	上ヶ屋	昭和56年8月17日
		250	飯綱原のシラタマノキ群生地	長野市	上ヶ屋	昭和58年3月16日
		251	七二会守田神社の神木	守田神社	七二会乙	昭和60年2月9日
		252	中郷神社の社叢	中郷神社	篠ノ井塩崎	平成3年2月28日
		253	百舌原のシナノキ	百舌原区十二社	広瀬字百舌原	平成6年1月20日
		254	百舌原のカスミザクラ	百舌原区十二社	広瀬字百舌原	平成6年1月20日
		255	中村のサルスベリ	個人	桜字中村	平成9年4月1日
		256	七二会諏訪神社の大杉	諏訪神社	七二会甲	平成15年1月14日
		257	西澤家のミチノクナシ	個人	入山	平成16年8月18日
		258	観音堂のシダレイショウ	個人	豊野町石	平成17年1月1日
		259	泉平伊勢社の大ケヤキ	泉平伊勢社氏子	豊野町豊野	平成17年1月1日
		260	荒古のサクラ	個人	豊野町豊野	平成17年1月1日
		261	堤の大コブシ	個人	豊野町豊野	平成17年1月1日
		262	観音山麓豊野層岩曲構造	豊野区	豊野町豊野	平成17年1月1日
		263	戸隠山頂の巖窟観音堂の大杉	巖窟観音堂	戸隠橋原	平成17年1月1日
		264	戸隠平出の夫婦杉	平出組	戸隠祖山	平成17年1月1日
		265	戸隠下祖山建代神社のしだれ桜	建代神社	戸隠祖山	平成17年1月1日
		266	大昌寺鎮守の大杉	大昌寺	戸隠橋原	平成17年1月1日
		267	戸隠中社の三本杉	戸隠神社	戸隠中社	平成17年1月1日
		268	戸隠積沢の化石群	戸隠祖山	戸隠祖山	平成17年1月1日
		269	戸隠猿丸とどの七本松	長野市	戸隠豊岡	平成17年1月1日
		270	トガクシツウ(トガクシショウマ)	戸隠山一帯	戸隠山一帯	平成17年1月1日
271	カワシンジュガイ	戸隠	戸隠	平成17年1月1日		
272	南浦のイチイ	西京区	鬼無里南浦	平成17年1月1日		
273	皇大神社のケヤキ	皇大神社	鬼無里押出	平成17年1月1日		
274	峠のカツラ	峯区	鬼無里峠	平成17年1月1日		
275	加茂神社のスキ	鬼無里東京	加茂神社	平成17年1月1日		
276	峯のヒメコマツ	個人	鬼無里中田	平成17年1月1日		
277	荒倉山神社のトチ	荒倉山神社	鬼無里上新倉	平成17年1月1日		
278	高橋のしだれザクラ	鬼無里高橋	高橋区	平成17年1月1日		
279	今池温泉のミズバショウと 棲息するモリアオガエル、 クロサンショウウオ	長野市	鬼無里日影今池	平成17年1月1日		
280	一之坂亀甲岩	押一区	鬼無里日影押一	平成17年1月1日		
281	奥姫花のブナの原生林	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
282	クルワドウ沢入口サンドバイブ	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
283	ハチノス状風化岩	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
284	千畳敷岩	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
285	縄痕(リップルマーク)	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
286	日影向斜の向斜軸	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
287	巖穴(ポットホール)	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
288	アズメ沢の化石群	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
289	クルワドウ沢の団塊	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
290	奥姫花のケスタ地形	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
291	加茂神社むすこ	鬼無里東京	加茂神社	平成17年1月1日		
292	金刀比羅神社神代桜	鬼無里下新倉	金刀比羅神社	平成17年1月1日		
293	飯綱神社のイチイ	飯綱神社	鬼無里七ツ室	平成17年1月1日		
294	天宗寺の合掌桜	天宗寺	大岡乙	平成17年1月1日		
295	芦ノ尻の大ケヤキ	豊原神社	大岡丙	平成19年3月15日		
296	芦ノ尻のエノキ	豊原神社	大岡丙	平成19年3月15日		
297	奥姫花自然園の巨木群 (トチ・ブナ・ミズナラ・シナノキ ・ヤチダモ・コハウチワカエデ)	長野市	鬼無里日影	平成20年3月27日		
298	富信神社社叢	富信神社	信州新町	平成22年1月1日		
299	臥雲の三本杉	臥雲院	中条日下野	平成22年1月1日		
300	石英安山岩(通称カブツラ石)	長野市	中条日高	平成22年1月1日		
301	飯綱神社の鷹馬づくり	飯綱保存会	飯綱	平成14年2月13日		

区分	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日
記念物	天然記念物	241	皇足徳命神社の大杉	皇足徳命神社	富田向台	昭和47年3月1日
		242	稲田のエノキ	稲田区	稲田	昭和47年3月1日
		243	余玉軒車駒つなぎのイチイ	小野平区	山田中	昭和49年7月20日
		244	性乗寺稲荷社のイチイ	性乗寺	七二会丙	昭和53年3月25日
		245	矢沢家のヒムロ	個人	松代町松代	昭和53年3月25日
		246	葛山落合神社社叢	葛山落合神社	入山	昭和53年3月25日
		247	富竹のビヤクシン	個人	富竹	昭和55年6月2日
		248	サワラとヒヨクヒバのキメラ	個人	篠ノ井山布施	昭和55年6月2日
		249	古沢家のイチイ	個人	上ヶ屋	昭和56年8月17日
		250	飯綱原のシラタマノキ群生地	長野市	上ヶ屋	昭和58年3月16日
		251	七二会守田神社の神木	守田神社	七二会乙	昭和60年2月9日
		252	中郷神社の社叢	中郷神社	篠ノ井塩崎	平成3年2月28日
		253	百舌原のシナノキ	百舌原区十二社	広瀬字百舌原	平成6年1月20日
		254	百舌原のカスミザクラ	百舌原区十二社	広瀬字百舌原	平成6年1月20日
		255	中村のサルスベリ	個人	桜字中村	平成9年4月1日
		256	七二会諏訪神社の大杉	諏訪神社	七二会甲	平成15年1月14日
		257	西澤家のミチノクナシ	個人	入山	平成16年8月18日
		258	観音堂のシダレイショウ	個人	豊野町石	平成17年1月1日
		259	泉平伊勢社の大ケヤキ	泉平伊勢社氏子	豊野町豊野	平成17年1月1日
		260	荒古のサクラ	個人	豊野町豊野	平成17年1月1日
		261	堤の大コブシ	個人	豊野町豊野	平成17年1月1日
		262	観音山麓豊野層岩曲構造	豊野区	豊野町豊野	平成17年1月1日
		263	戸隠山頂の巖窟観音堂の大杉	巖窟観音堂	戸隠橋原	平成17年1月1日
		264	戸隠平出の夫婦杉	平出組	戸隠祖山	平成17年1月1日
		265	戸隠下祖山建代神社のしだれ桜	建代神社	戸隠祖山	平成17年1月1日
		266	大昌寺鎮守の大杉	大昌寺	戸隠橋原	平成17年1月1日
		267	戸隠中社の三本杉	戸隠神社	戸隠中社	平成17年1月1日
		268	戸隠積沢の化石群	戸隠祖山	戸隠祖山	平成17年1月1日
		269	戸隠猿丸とどの七本松	長野市	戸隠豊岡	平成17年1月1日
		270	トガクシツウ(トガクシショウマ)	戸隠山一帯	戸隠山一帯	平成17年1月1日
271	カワシンジュガイ	戸隠	戸隠	平成17年1月1日		
272	南浦のイチイ	西京区	鬼無里南浦	平成17年1月1日		
273	皇大神社のケヤキ	皇大神社	鬼無里押出	平成17年1月1日		
274	峠のカツラ	峯区	鬼無里峠	平成17年1月1日		
275	加茂神社のスキ	鬼無里東京	加茂神社	平成17年1月1日		
276	峯のヒメコマツ	個人	鬼無里中田	平成17年1月1日		
277	荒倉山神社のトチ	荒倉山神社	鬼無里上新倉	平成17年1月1日		
278	高橋のしだれザクラ	鬼無里高橋	高橋区	平成17年1月1日		
279	今池温泉のミズバショウと 棲息するモリアオガエル、 クロサンショウウオ	長野市	鬼無里日影今池	平成17年1月1日		
280	一之坂亀甲岩	押一区	鬼無里日影押一	平成17年1月1日		
281	奥姫花のブナの原生林	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
282	クルワドウ沢入口サンドバイブ	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
283	ハチノス状風化岩	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
284	千畳敷岩	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
285	縄痕(リップルマーク)	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
286	日影向斜の向斜軸	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
287	巖穴(ポットホール)	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
288	アズメ沢の化石群	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
289	クルワドウ沢の団塊	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
290	奥姫花のケスタ地形	長野市	鬼無里日影	平成17年1月1日		
291	加茂神社むすこ	鬼無里東京	加茂神社	平成17年1月1日		
292	金刀比羅神社神代桜	鬼無里下新倉	金刀比羅神社	平成17年1月1日		
293	飯綱神社のイチイ	飯綱神社	鬼無里七ツ室	平成17年1月1日		
294	天宗寺の合掌桜	天宗寺	大岡乙	平成17年1月1日		
295	芦ノ尻の大ケヤキ	豊原神社	大岡丙	平成19年3月15日		
296	芦ノ尻のエノキ	豊原神社	大岡丙	平成19年3月15日		
297	奥姫花自然園の巨木群 (トチ・ブナ・ミズナラ・シナノキ ・ヤチダモ・コハウチワカエデ)	長野市	鬼無里日影	平成20年3月27日		
298	富信神社社叢	富信神社	信州新町	平成22年1月1日		
299	臥雲の三本杉	臥雲院	中条日下野	平成22年1月1日		
300	石英安山岩(通称カブツラ石)	長野市	中条日高	平成22年1月1日		
301	飯綱神社の鷹馬づくり	飯綱保存会	飯綱	平成14年2月13日		

■新旧対照表(No.48)

新 (311ページ)

旧 (301ページ)

区分	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日		
登録有形文化財	建造物	69	杭全家住宅 主屋	個人	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日		
		70	杭全家住宅 土蔵	個人	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日		
		71	荒神堂	荒神町自治会	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日		
		72	大木家住宅旧主屋	個人	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日		
		73	野中家住宅主屋	個人	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日		
		74	旧信濃中牛馬合資会社社屋	長野市	大門町	平成 19 年 10 月 22 日		
		75	西山家住宅主屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		76	赤澤家住宅表門	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		77	藤田家住宅 仲間部屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		78	藤田家住宅 土蔵	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		79	藤田家住宅 表門	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		80	井上家住宅 主屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		81	井上家住宅 表門	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		82	成澤家住宅主屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		83	長谷川家住宅 主屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		84	長谷川家住宅 土蔵	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		85	長谷川家住宅 表門	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日		
		86	信州大学教育学部書庫(旧長野県庁書庫庫)	信州大学	長野字下長野	平成 20 年 7 月 23 日		
		87	五明家住宅 離れ座敷	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日		
		88	五明家住宅 文庫蔵	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日		
		89	原山家住宅 仲間部屋	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日		
		90	原山家住宅 表門	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日		
		91	原山家住宅 塀	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日		
		92	恵明寺 本堂	恵明寺	松代町西条	平成 22 年 9 月 10 日		
		93	恵明寺 鐘楼	恵明寺	松代町西条	平成 22 年 9 月 10 日		
		94	恵明寺 山門	恵明寺	松代町西条	平成 22 年 9 月 10 日		
		95	東飯田酒造店 松の間	(株)東飯田酒造店	篠ノ井小松原	平成 24 年 2 月 23 日		
		96	東飯田酒造店 酒蔵	(株)東飯田酒造店	篠ノ井小松原	平成 24 年 2 月 23 日		
		97	東飯田酒造店 土蔵	(株)東飯田酒造店	篠ノ井小松原	平成 24 年 2 月 23 日		
		98	東飯田酒造店 漬物蔵	(株)東飯田酒造店	篠ノ井小松原	平成 24 年 2 月 23 日		
		99	旧山寺常山家住宅 書院	長野市	松代町松代	平成 25 年 11 月以降		
		100	旧山寺常山家住宅 表門	長野市	松代町松代	平成 25 年 11 月以降		
		101	旧山寺常山家住宅 須地門	長野市	松代町松代	平成 25 年 11 月以降		
		102	旧恩田重信家住宅 主屋	明治薬科大学	松代町松代	平成 25 年 11 月以降		
		103	旧恩田重信家住宅 土蔵	明治薬科大学	松代町松代	平成 25 年 11 月以降		
		104	梅翁院 本堂	梅翁院	松代町松代	平成 25 年 11 月以降		
		105	梅翁院 山門	梅翁院	松代町松代	平成 25 年 11 月以降		
		106	長明寺 本堂	長明寺	松代町東寺尾	平成 25 年 11 月以降		
		107	長明寺 経蔵	長明寺	松代町東寺尾	平成 25 年 11 月以降		
		108	長明寺 三門	長明寺	松代町東寺尾	平成 25 年 11 月以降		
		登録記念物	記念物	109	旧山寺常山氏庭園	長野市	松代町松代	平成 20 年 7 月 28 日
				110	大木氏庭園	個人	松代町松代	平成 20 年 7 月 28 日
				111	象山神社園池	象山神社	松代町松代	平成 20 年 7 月 28 日
				112	野中氏庭園	個人	松代町松代	平成 20 年 7 月 28 日

区分	種別	No.	名称	所有者(管理者)	所在地	指定年月日
登録有形文化財	建造物	69	杭全家住宅 主屋	個人	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日
		70	杭全家住宅 土蔵	個人	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日
		71	荒神堂	荒神町自治会	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日
		72	大木家住宅旧主屋	個人	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日
		73	野中家住宅主屋	個人	松代町松代	平成 18 年 11 月 9 日
		74	旧信濃中牛馬合資会社社屋	長野市	大門町	平成 19 年 10 月 22 日
		75	西山家住宅主屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		76	赤澤家住宅表門	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		77	藤田家住宅 仲間部屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		78	藤田家住宅 土蔵	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		79	藤田家住宅 表門	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		80	井上家住宅 主屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		81	井上家住宅 表門	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		82	成澤家住宅主屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
登録記念物	記念物	83	長谷川家住宅 主屋	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		84	長谷川家住宅 土蔵	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		85	長谷川家住宅 表門	個人	松代町松代	平成 19 年 12 月 19 日
		86	信州大学教育学部書庫(旧長野県庁書庫庫)	信州大学	長野字下長野	平成 20 年 7 月 23 日
		87	五明家住宅 離れ座敷	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日
		88	五明家住宅 文庫蔵	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日
		89	原山家住宅 仲間部屋	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日
		90	原山家住宅 表門	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日
		91	原山家住宅 塀	個人	松代町松代	平成 22 年 9 月 10 日
		92	恵明寺 本堂	恵明寺	松代町西条	平成 22 年 9 月 10 日
		93	恵明寺 鐘楼	恵明寺	松代町西条	平成 22 年 9 月 10 日
		94	恵明寺 山門	恵明寺	松代町西条	平成 22 年 9 月 10 日
		95	東飯田酒造店 松の間	(株)東飯田酒造店	篠ノ井小松原	平成 24 年 2 月 23 日
		96	東飯田酒造店 酒蔵	(株)東飯田酒造店	篠ノ井小松原	平成 24 年 2 月 23 日
97	東飯田酒造店 土蔵	(株)東飯田酒造店	篠ノ井小松原	平成 24 年 2 月 23 日		
98	東飯田酒造店 漬物蔵	(株)東飯田酒造店	篠ノ井小松原	平成 24 年 2 月 23 日		
99	旧山寺常山氏庭園	長野市	松代町松代	平成 20 年 7 月 28 日		
100	大木氏庭園	個人	松代町松代	平成 20 年 7 月 28 日		
101	象山神社園池	象山神社	松代町松代	平成 20 年 7 月 28 日		
102	野中氏庭園	個人	松代町松代	平成 20 年 7 月 28 日		